

第2期

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏連携事業達成状況調書 (令和6年度)

連携中枢都市圏ビジョン懇談会
令和7年11月26日

連携協約に基づき推進する取組一覧(令和6年度 84事業)

連携協約		事業名	連携する市町						
役割	連携施策		鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	香美町	新温泉町
ア 圏域全体の経済成長のけん引	1 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進・地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	1 起業・創業支援事業	●	●	●	●	●	●	●
	2 経営改善等推進事業	2 経営改善等推進事業	●	●	●	●	●	●	●
	3 地域商社活用事業	3 地域商社活用事業	●	●	●	●	●	●	●
	4 関西事務所運営事業	4 関西事務所運営事業	●				●		
	5 広域的道路網整備促進事業	5 広域的道路網整備促進事業	●	●	●	●	●	●	●
	6 森林保全推進事業	6 森林保全推進事業	●	●	●	●	●	●	●
	7 林業従事者支援事業	7 林業従事者支援事業	●	●	●	●	●	●	●
	8 雑貝・稚魚放流事業	8 雑貝・稚魚放流事業	●	●	●	●	●	●	●
	9 渔業雇用促進対策事業	9 渔業雇用促進対策事業	●	●					
	10 特定生産促進支援事業	10 特定生産促進支援事業	●	●	●	●	●		
	11 農産物販路拡大支援事業	11 農産物販路拡大支援事業	●	●	●	●	●	●	●
	12 地域おこし協力隊導入事業	12 地域おこし協力隊導入事業	●	●	●	●	●	●	●
	13 農業IT化促進事業	13 農業IT化促進事業	●	●	●	●	●	●	●
	14 日本遺産・麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	14 日本遺産・麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	●	●	●	●	●	●	●
	15 麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	15 麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	●	●	●	●	●	●	●
	16 インターネットショップ推進事業	16 インターネットショップ推進事業	●	●	●	●	●	●	●
	17 鳥取市公設地方卸売市場再整備・活用事業	17 鳥取市公設地方卸売市場再整備・活用事業	●	●	●	●	●	●	●
	18 物産振興体制強化事業	18 物産振興体制強化事業	●	●	●	●	●	●	●
	19 駅前広場ペアード・ハット利用促進事業	19 駅前広場ペアード・ハット利用促進事業	●	●	●	●	●	●	●
3 戦略的な観光施策	20 地域連携DMO・一般社団法人麒麟のまち観光局支援事業	20 地域連携DMO・一般社団法人麒麟のまち観光局支援事業	●	●	●	●	●	●	●
	21 主要道路沿線エリア活性化事業	21 主要道路沿線エリア活性化事業	●	●	●	●	●		
	22 外国人観光客受入事業	22 外国人観光客受入事業	●	●	●	●	●	●	●
	23 因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	23 因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	●	●	●	●	●	●	●
	24 浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通連行協議会支援事業	24 浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通連行協議会支援事業	●	●					
	25 山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	25 山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	●	●			●	●	●
	26 観光大学運営・活用事業	26 観光大学運営・活用事業	●	●	●	●	●	●	●
4 その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	27 若者の地元定着促進事業	27 若者の地元定着促進事業	●	●	●	●	●	●	●
	28 國際経済交流推進事業	28 國際経済交流推進事業	●	●	●	●	●	●	●
イ 高次の都市機能の集積・強化	1 高度な医療サービスの提供	29 鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険若頭病院の地域医療研修協力事業	●	●	●				
		30 鳥取市立病院と国民健康保険若頭病院の医師の相互派遣事業	●		●				
		31 鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	●	●	●	●	●	●	●
		32 病院群輪番制運営支援事業	●	●	●	●	●	●	●
	2 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	33 鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	●	●	●	●	●	●	●
		34 鳥取駅周辺再整備推進事業	●	●	●	●	●	●	●
		35 公共交通機関のキャッシュレス化推進事業	●	●	●	●	●	●	●
		36 山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	●	●	●	●	●	●	●
	3 高等教育・研究開発の環境整備	37 公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	●	●	●	●	●	●	●
		38 鳥取大学が実施する教育研究プロジェクト等との連携事業	●	●	●	●	●	●	●

連携協約		事業名	連携する市町						
役割	連携施策		鳥取市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	香美町	新温泉町
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	1 地域医療	39 医療への関わり方の圏域住民への周知事業	●	●	●	●	●	●	●
		40 病児・病後児保育事業	●	●	●	●	●	●	●
		41 障がい者歯科診療所運営支援事業	●	●	●	●	●	●	●
	2 介護	42 圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	●	●	●	●	●	●	●
	3 福祉	43 社会福祉協議会各種相談事業	●	●	●	●	●	●	●
		44 鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	●	●	●	●	●	●	●
		45 保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	●	●	●	●	●	●	●
		46 点証朗読奉仕員養成研修事業	●	●	●	●	●	●	●
		47 地域活動支援センター事業	●	●	●	●	●	●	●
		48 地域食堂支援事業	●	●	●	●	●	●	●
		49 麒麟のまち孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業	●	●	●	●	●	●	●
	4 教育・文化・スポーツ	50 圏域の文化財情報連携事業	●	●	●	●	●	●	●
		51 麒麟のまち鳥取市美術展開催事業	●	●	●	●	●	●	●
		52 森のようちえん運営・活用事業	●						
		53 麒麟のまち交流スポーツ大会事業	●	●	●	●	●	●	●
		54 国際理解推進交流事業	●	●	●	●	●	●	●
		55 公共図書館の相互利用事業	●	●	●	●	●	●	●
		56 麒麟のまちアカデミー運営事業	●	●	●	●	●	●	●
	5 地域振興	57 野生鳥獣被害防止事業	●	●	●	●	●	●	●
		58 射撃場整備・管理運営事業	●	●	●	●	●	●	●
		59 いなばのビューエン活協議会支援事業	●	●	●	●	●	●	●
		60 グリーンツーリズム推進事業	●						
		61 森林セラピー事業	●						
		62 麒麟のまち創生戦略会議運営事業	●	●	●	●	●	●	●
		63 地域づくり人材育成事業	●	●	●	●	●	●	●
	6 災害対策	64 圏域防災力の向上事業	●	●	●	●	●	●	●
	7 環境	65 ごみ減量化推進事業	●	●	●	●	●	●	●
		66 太陽光発電設備等共同購入事業	●						
	8 地域公共交通	67 JR山陰本線利用促進事業	●						
		68 智頭線・因美線利用促進事業	●						
		69 広域バス路線等運行支援事業	●	●	●	●	●	●	●
		70 若桜鉄道利用促進事業	●	●	●	●	●	●	●
		71 持続可能な生活交通等の維持・確保対策事業	●	●	●	●	●	●	●
	9 ICTインフラ整備	72 ICTインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	●	●	●	●	●	●	●
		73 DX施策の情報連携及びICT関係機器・システム等の共同調達事業	●	●	●	●	●	●	●
	10 地域内外の住民との交流・移住促進	74 若者定住促進事業	●	●	●	●	●	●	●
		75 圏域移住促進事業	●	●	●	●	●	●	●
		76 鳥取すごいライド支援事業	●	●					
	11 ネットワークの強化に係る連携	77 広報誌リレー記事掲載事業	●	●	●	●	●	●	●
		78 圏域全体のエリーアプロモーション事業	●	●	●	●	●	●	●
		79 麒麟のまち圏域DX検討会事業	●	●	●	●	●	●	●
		80 人権集会等開催事業	●	●	●	●	●	●	●
	12 人材の育成	81 合同職員研修事業	●	●	●	●	●	●	●
		82 職員交流検討事業	●	●	●	●	●	●	●
	13 外部からの行政及び民間人材の登用	83 男女共同参画推進事業	●	●	●	●	●	●	●
	14 圏域内市町村の職員等の交流	84 公共施設点検研修の共同実施事業	●	●	●	●	●	●	●
		計	84	76	72	75	74	63	69

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
1	起業・創業支援事業	民間の創業支援事業者（地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等）と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催等の創業支援を実施する。	【鳥取市】 ・伴走型スタートアップ支援補助金による支援（12件） ・まちづくり融資～リノベーション創業型～による支援（継続6件） ・リノベーション型まちづくりファンド（継続2件、新規0件） 【岩美町】 岩美町商工会等と連携して創業者に対する事業計画策定支援、創業補助金の交付を行った。3月末実績：上限50万円×5件（合計 2,299千円） 【若桜町】 若桜町創業支援補助金の交付5件。 【智頭町】 新規創業・開業支援事業補助金申請事業者 3件 【八頭町】 出来る杭を伸ばす事業者応援補助金の内、起業創業型で起業創業に係る各種経費を支援。 <現在の交付決定数> 5事業者 【香美町】 商工会と連携しセミナー：4回、個別相談：5回を実施 セミナー参加者6名 本年度起業予定なし 【新温泉町】 ・創業セミナー 7/29～9/2 全6回 ・ワンストップ相談窓口 新温泉町商工会（通年実施） ・サンシホール浜坂（毎月第2・第4木曜日）で実施 ・起業支援補助金：7,959千円 11件	全市町	創業者数 (人/年)	109	119	92	77.3%	○	【鳥取市】 R6年度に新設した伴走型スタートアップ補助金は、飲食、建設、美容など、幅広い業種の創業に寄与した。一方で遊休不動産を活用した創業を支援するリノベーション型まちづくりファンドの活用が進んでいない。 【岩美町】 地域特性を活かしたサービスのほか、これまでの経験を活かして独立して起業するケースが増加傾向にあり、小規模事業者の新規創業を後押ししている。 【八頭町】 平成30年から令和6年度まで、毎年度補助を実施し、合計で45件の起業創業の補助を実施。起業に際しての支援を実施した。年度により起業創業の件数に波があるため、継続した予算措置が課題。 【新温泉町】 平成30年度から令和6年度までの取組みで、創業者数は49人となり、徐々に増加している。また、転入者による起業も増加傾向にある。	【鳥取市】 引き続き、補助金等による伴走型の支援に取組むとともに、関係団体などと連携し、遊休不動産やファンド活用者の掘り起しに努める。 【岩美町】 引き続き、起業・創業を積極的に後押しするとともに、既存事業者の持続的な経営に対する支援も強化していく。 【若桜町】 引き続き商工会と連携し創業者の支援を図る。 【八頭町】 補助金活用の要望・問合せも多いため、商工会等の支援組織と連携しつつ内容を精査し、引き続き補助事業による起業創業支援を実施したい。 【新温泉町】 引き続き、商工会等と連携しながら創業支援を行っていく。	★
2	経営改善等推進事業	圏域全体の事業者を対象に、生産性向上、販路開拓、ワーク・ライフ・バランス、ビジネス課題の解決などさまざまなテーマで経営改善等につながるセミナーや支援事業等を実施する。	【鳥取市】 ・働き方改革セミナー 計91人（6/27 49人, 8/2 42人） ・DXセミナー 計85人（8/23 18人, 9/3 32人, 9/9 20人, 9/17 15人） ・リモート人材活用セミナー36人（12/3） ・採用・育成・定着セミナー 21人（3/6） ・外国人留学生等インターンシップ2人（3/5～3/18, 3/7～3/18） 【岩美町】 AI活用セミナーほか（全16回） 延べ78人 【若桜町】事業なし 【八頭町】 起業創業希望者、起業創業間もない経営者等を対象としたセミナー・実践型経営塾を開催。第一線で活躍する県内外の経営者を招き、伴走型の講義を開催。 セミナー参加者39名、実践型経営塾受講者6名。	全市町	セミナー 参加者数 (人/年)	69	127	363	285.8%	○	【鳥取市】 若者の人材確保・定着、DXによる生産性の向上、働き方改革の推進など、地元企業の持続的成長に向けたセミナーを開催。 【岩美町】 SNSや生成AIの活用、マーケティング戦略など、経営改善や新事業展開・再構築を図るためのセミナー、相談会等を開催。 【八頭町】 令和5年度に引き続き令和6年度も実践型の経営塾を久し振りの開催。実践型経営塾については更なる参加者の募集が課題。	【鳥取市】 企業の抱える課題や関心に応じたセミナーを開催し、地元企業の競争力と魅力の向上を図っていく。 【岩美町】 引き続き、商工会等と連携しながら、時代に即したビジネス課題や経営に必要なスキルを学ぶためのセミナー等を開催する方針。 【若桜町】 現時点で事業実施していないが、商工会と連携し事業者のニーズに合わせたセミナーの実施を検討したい。 【八頭町】 引き続き、起業件数を増やすためセミナーを継続して実施する。	★
3	地域商社活用事業 令和6年度末にて廃止	営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能を持ち、既存商品・商品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源を圏域外へ販路開拓・拡大することを目的とした商社事業を展開する。	・圏域の農水産物や食品加工品を中心に圏域外への販路開拓と販売を行う商品流通事業を実施。 ・関西（兵庫県南部地域中心）・山陽方面への出張商談を積極的に実施。 ・金融機関取引先へアプローチを続けた結果、青果・精米の自社配送による姫路・尼崎へ定期納品を実施中。 ・従来より推進していた鳥取県産米の県外出荷先に關しても、新規取引先を開拓。今後の取扱い量増加へ取り組む。 ・直近では鳥取市公設地方卸売市場の事業者（荷受・関連事業者）との連携も重視しつつ、県外に向けた販路開拓に取り組んでいる。 【若桜町】 事業実績なし 山陰合同銀行に株式譲渡済	全市町	新規取引 業者数 (生産団 体も含 む) (年)	9	9	25	277.8%	○	各市町の地域商社の株式について令和5年度に山陰合同銀行に株式譲渡済であり、令和6年度をもって本事業は連携中核都市圏ビジョン連携事業を廃止とする。	圏域の事業者が、販路開拓・拡大に活用に資する既存の事業に引き継ぐ	
4	関西事務所運営事業	関西事務所に職員を配置し、鳥取県関西本部などとの連携を図りながら、関西圏や中四国、中京圏域において、鳥取・因幡圏域の広報宣伝活動や企業訪問等を実施する。	【鳥取市】 <企業訪問数> 223件 (3月31日現在：企業訪問数208件+情報発信15件) 【八頭町】 <企業訪問数> 17件 (3月31日現在：企業訪問数13件+情報発信4件)	鳥取市、 八頭町	企業訪問 件数（件/ 年）	144	144	240	166.7%	○	【鳥取市】 鳥取市関西事務所は、これまでに鳥取自動車道、山陰道鳥取西道路の開通時の関西圏でのPR強化、大阪中之島に設置している関西圏情報発信拠点「麒麟のまち」を活用した情報発信や販路拡大のほか、企業誘致、移住定住の相談業務などを行ってきた。 【八頭町】 八頭町関西事務所を設置し、関西圏の企業・自治体等訪問により、圏域への企業誘致や観光情報の発信を図った。	【鳥取市】 引き続き関西地域における総合的な窓口として各種PR活動をしていくとともに、中京圏も視野に企業誘致活動を進めいく。 【八頭町】 引き続き関西事務所を設置し、更なる企業誘致及び観光情報発信による関係人口創出等に努める。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6		創生 総合 戦略
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価	今後の取組方針		
5	広域的道路網整備 促進事業	関係市町と連携し、圏域内の山陰自動車道の未整備区間の早期整備、鳥取自動車道及び山陰自動車道の4車線化等を促進するため、関係機関に対する要望活動、啓発活動及び道路整備の際の環境整備を積極的に実施する。	【道路関係3期成会（山陰道、鳥取道、山陰近畿自動車道）】 5月22日 道路関係3期成会総会 7月9日 鳥取河川国道事務所・倉吉河川国道事務所への要望活動 7月19日 中国地方整備局への要望活動（広島） 10月10日 国土交通省、財務省、地元選出国会議員への要望活動（東京） 【美作岡山道路北部延伸】 8月19日 鳥取河川国道事務所への要望活動 8月21日 中国地方整備局への要望活動（広島） 8月28日 国土交通省への要望活動（東京）	全市町	要望活動数（回/年）	6	7	7	100.0%	◎	KPIは目標を達成した。引き続き、期成会を通じた要望活動を実施し、未整備区間の早期事業化や事業中区間の整備推進を図る必要があると考える。	引き続き、期成会を通じた要望活動を実施し、未整備区間の早期事業化や事業中区間の整備推進を図る。	
6	森林保全推進事業	作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等により、健全な森づくりを推進する。	【鳥取市】 作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等に要する経費を支援 作業道開設L=23,951m、林業専用道開設L=887m、間伐面積A=305.7ha 【岩美町】 作業道の整備や間伐等に要する経費を支援（令和7年3月に事業主体へ補助金交付） 作業道開設L=9,449m、間伐面積A=38.9ha 【若桜町】 作業道開設：7,664m 間伐：73.09ha 【智頭町】 作業道開設：11,514m、間伐：58.23ha 【八頭町】 森づくり作業道整備事業、造林事業等により、事業体が作業道敷設や間伐を行う際の補助事業に係る支援を行った。また、竹林整備事業に係る相談対応により事業実施ができるよう支援した。 作業道開設：5,173m、間伐面積109.71ha 【香美町】 森林管理100%作戦 間伐16.2ha、作業道467m 条件不利地間伐事業 間伐50.71ha 【新温泉町】 森林管理100%作戦推進事業 間伐A=46.25ha 作業道L=3,350m 条件不利地間伐事業 間伐A=29.31ha	全市町	鳥取・因幡圏域の間伐面積（ha/年）	910	1,056	704	66.7%	△	KPI目標に達しなかったものの、作業道の整備や間伐の促進等を支援し健全な森づくりを推進してきた。	引き続き単独費や補助事業の活用による森林管理間伐及び森林環境譲与税を活用した条件不利地間伐等に取り組む。	
7	林業従事者支援事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るために支援を行う。	【鳥取市】 林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成。（県：1/4、市：1/4） 【岩美町】 ○林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの町内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成。（県：1/4、町：1/4） ○公益財団法人鳥取県担い手育成財団へ共済年金掛金、年末一時金支給の一部を助成。 【若桜町】 林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るために、社会保険掛金等経費を町助成。（R6実績なし。）また、大学生等が借入た奨学生の返還額の一部を町助成。（R6実績なし。）その他、林業労働者福祉向上推進事業による市町村負担分を負担。 【智頭町】 林業労働者の雇用条件の改善を図るために、健康保険料及び厚生年金の一部を支援する。 【八頭町】 林業従事者の労働環境改善のため、林業事業体の従業員3名が負担する共済掛金の支援及び社会保険の加入促進を行った。	全市町	林業労働者雇用条件改善事業実施者数（各年毎健康保険・農林年金への補助者数）（人）	36	41	29	70.7%	△	KPI目標には達しなかったが、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るために支援に取り組んでいる。	引き続き移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るために支援を行う。	
8	稚貝・稚魚放流事業	内水面や沿岸における稚貝や稚魚の放流や資源管理を図る。	【鳥取市】 内水面漁業協同組合等が行う稚魚放流に要する経費を支援。（放流量3,73t） ・沿岸漁協が行う放流支援 アワビ21,850個、サザエ46,000個、キジハタ9,760尾（合計重量0.147t） 【岩美町】 稚貝・稚魚の放流 アワビ26,500個、サザエ17,000個、キジハタ2,974尾 【若桜町】 わかさこども園の園児ヒヤマの放流、併せて、千代川漁協若桜支部の協力のもと、ヒヤマ・イワナの放流を実施。ヒヤマ5,450匹、イワナ3,850匹 ※R6年度は魚の豊かな川づくり基金の補助交付なし。 【八頭町】 やまめ稚魚2,550尾の放流を行った。※うち550尾は開催時期が延期となった分、2,000尾の稚魚よりも成長したものを放流している。 【香美町】 稚魚・稚貝種苗の放流による水産資源増強支援事業 ・内水面事業＝アユ1,030kg、ウナギ種苗25kg、ヒヤマ・イワナ20,000尾 ・海水面＝クロアワビ12,000個、サザエ20,000個、カサゴ5,000尾、キジハタ2,000尾 【新温泉町】 ・内水面事業 サザエ10,000個、クロアワビ13,000個、ヒラメ100,000尾、マダイ200,000尾、カサゴ6,000尾、キジハタ2,000尾 ・内水面事業 鮎稚魚500kg、ウナギ稚魚5kg、ヒヤマ・カサゴ5,000尾、フナ稚魚2,300尾	全市町	放流数（トン/年）	7.32	6.75	7.06	104.6%	◎	計画的に事業を実施し、目標数を確保している。	今後も放流時期や場所についても検討を重ね、引き続き資源管理を図る必要があると考える。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
9	漁業雇用促進対策事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、漁労技術の習得研修や漁業への就業支援を行い、就業者確保を図る。	【鳥取市】鳥取県漁業協同組合等が海面漁業への就業を希望する者に対して行う漁労技術等の習得研修に要する経費を支援。（雇用型1名、独立型1名） 【岩美町】漁業への就業を希望する者に対して行う漁労技術等の習得研修に要する経費を支援。 ・研修生（沖合底びき網漁業、定置網漁業及び養殖業）雇用型：8名、独立型：1名 ※1月以上研修を実施した者数 【香美町】実施なし 【新温泉町】実施なし	鳥取市、岩美町、香美町、新温泉町	研修実施者数（毎年）（人）	24	12	8	66.7%	△	全てでのKPI目標は達成しなかったが、岩美町では研修期間中に2名下船したが、沖底・定置・一本釣り等で6名の新規就業者があった。	引き続き就業支援を行い新規就業者の確保を図るとともに、移住希望者等へ情報発信や新たな支援の検討についても取り組む。	
10	特産品生産促進支援事業	白ネギ等の特産化を図るため、主に東部圏域で行う生産・販路拡大に対して支援する。	【鳥取市】生姜、らっきょう、アスパラ等の生産拡大や新規に生産に取り組む農業者に対し、必要な機器の導入や試作による経費を支援することで、農業者の野菜生産量を向上させ、農家経営の安定及びブランド野菜の生産振興を推進する。園芸生産地活力増進事業 4件 【岩美町】R7.3月に白ネギを作付けしている農業者に対し、10g当たり7,000円の補助金を交付 【智頭町】白ネギ圃場の排水不良による品質及び収量低下への対策として、圃場の均平化や明渠の施工による機械等の導入経費を支援することで、栽培面積、販売額の増加等、白ネギの生産拡大を推進。（園芸生産地活力増進事業 1件）	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	白ネギの作付面積（ha/年）	49	69	53	76.5%	○	農業者の野菜生産量を向上させ、農家経営の安定及びブランド野菜の生産振興を図った。	特産品である白ネギの生産の維持発展を図っていくとともに、中山間地域で特色を活かした園芸作物の生産地化を図り、地域活性化につなげていく。	
11	農産物販路拡大支援事業	農産物の新たな販路強化・拡大を行い、圏域農産物の販売促進を図る。	・大阪中之島での圏域農産物マルシェ開催（月1回） ・東京豊洲での圏域農産物マルシェ開催（1回） ・現地及び代表商談会の開催（3回）	全市町	関西圏での合同直販市の開催（回/年）	0	3	1	33.3%	✗	関西圏を中心に、マルシェを開催し、因幡圏域の農産物や加工品のPRを行い、販路拡大を図った。 併せて、現地商談（野菜、果樹）を実施し、広域的なPR活動を行うことで、因幡圏域の農林水産物等の知名度アップを図った。	引き続き、商談会の開催や催事等への出展、マルシェの開催等により新たな販路開拓を行っていくとともに、首都圏や関西圏等のニーズを产地にフィードバックし、産地化への取組を推進していく。	★
12	地域おこし協力隊導入事業	三大都市圏等から地域おこし協力隊員を招致し、地域活性化に係る諸課題の解決を推進する。また、隊員のネットワーク促進など隊員の活動充実に向け、圏域情報の共有と連携を推進する。	地域おこし協力隊 <鳥取市>浜村地区の情報発信・地区の活性化（1名）、空き家を活用した国府地域の活性化（1名）、未利用・遊休化しているものの資源化や河内奥樹の里山プロジェクトの持続に向けた取り組み（1名）、新しいデジタル技術web3を活用した次世代インターネット上の交流の場で佐治地域の活性化にむけたアイディア創出を行う（1名）、流しひな製作技術継承・空き家の掘り起こしと活用（1名） <岩美町>道の駅魅力化事業（1名）、SNS等による情報発信事業（1名）、ふるさと納税推進事業（2名） <若桜町>蕎麦の栽培や製造販売等による町おこし・蕎麦屋の開業（1名）、町整備のエゴマ搾油施設や精米施設等を活用した新たな加工品の開発・販路開拓（2名） <智頭町>石谷家住宅の文化財観光活性化（1名）特定地域づくり事業協同組合事務局業務における採用・広報・派遣事業の企画・運営業務、研修事業の企画・運営業務（1名）那岐の森の宿の運営（1名） <八頭町>鳥獣対策部門（1名）、道の駅はつとうにおける特産品販売・振興（1名）、観光情報発信、移住定住部門（1名）、有機野菜の生産、プロジェクト推進（1名）、生物多様性保全、有機野菜の生産（1名）、地域スポーツ振興（1名）、地域住民や各世代間の交流支援（1名）、地域農業振興（トレーニングファーム）（1名） <香美町>梨生産技術承継業務（1名）、観光情報発掘発信業務（1名）、射添地区地域づくり業務（1名） <新温泉町>道の駅活性化（2名）、観光振興支援（1名）ワーケーション推進（1名）、温泉振興（店舗運営）（5名）、移住定住促進（2名）、水産振興（1名）、国際交流推進（2名）、商店街活性化（2名）、文化財活用推進（1名）、生涯学習活動推進（1名）、地域情報発信（1名）	全市町	任期終了後の定住者数（累計：人）	55	74	63	85.1%	○	<鳥取市>都市住民を受け入れ「地域おこし協力隊」に委嘱し、中山間地域の地域活性化に取り組むとともに、あわせて、本市への隊員の定住・定着を図った。 (岩美町) 令和6年度は新規に1名の募集を行い、予定どおり1名を受け入れることができた。 <若桜町>令和6年度は3名の地域おこし協力隊を受け入れた。これからの地域おこし活動に期待したい。 (香美町) 令和6年度中に新規業務1名、継続業務1名の募集を行ったが採用に至らなかった。また、任期途中の終了となった業務が1名あった。 隊員・業務と行政側の調整、受入体制の整備の難しさが課題としてあらためて浮き彫りとなった。	(鳥取市) 令和7年度は、新規で2名の受け入れを予定している。今後も(香美町) 業務の方向性及び必要性にかかる内部協議、受入体制の整備にかかる関係団体等との協議を行い、隊員の移住定住・起業につながる取り組みを進める。 (若桜町) 今後も地域おこし協力隊を受け入れ、地域おこし活動により地域活性化を図るとともに、任期終了後の隊員の定着を目指す	
13	農業IT化促進事業	鳥取・但馬圏内の自治体及び農商工関係団体等と連携し、以下の事業を実施する。 (1) 情報収集・発信（メール配信等） (2) 研修・情報交換会の開催（座学・圃場研修、事例研究等）	GAP認証に向け営農アプリ導入支援（さわだ農産（農））を行ったり、耕作放棄地を解消して有機栽培を開始（鳥の農場）するなど実証的に取組んでいる。KPIとは別に、持続可能な農業を実現するためのスマート農機や生産管理システム等の導入を支援中 ①スマート農業（南山岡、ファームなかいいち（農））2件	全市町	研修会延べ参加者数（人/年）	11	35	4	11.4%	✗	アプリ導入により栽培・施肥管理（有機減農薬等）について可視化でき、併せてスマート農機との連動により作業の省力・効率化を図る起因となった。しかししながら、アプリ導入の効果について実感できた生産者は少なく導入実証をアピールする必要がある。	新規にスマート農機導入予定事業者をメインに、GAP認証に向け営農アプリ導入支援を積極的に行い、円滑な新規就農・担い手育成に取り組みたい。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6		創生 総合 戦略
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価	今後の取組方針		
14	日本遺産・麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	日本遺産認定を活かし、圏域に受け継がれる麒麟獅子舞などの構成文化財の魅力を情報発信することにより、圏域の活性化や次世代への保存・継承につなげる。	日本遺産「麒麟のまち推進協議会」が実施主体となり、情報発信事業、普及啓発事業などを実施した。 【情報発信事業】 <ul style="list-style-type: none">・ウェブサイトの運営、SNS情報発信【プロモーション活動】<ul style="list-style-type: none">・日本遺産・麒麟獅子舞パネル巡回展実施・日本遺産フォーラム（岩美町）への参加など 【商品造事業】 <ul style="list-style-type: none">・体験体感プログラム（麒麟獅子舞披露）8回実施【普及啓発事業】<ul style="list-style-type: none">・「日本遺産・麒麟獅子舞フェスタ」の開催支援・麒麟獅子舞保存継承プログラム（子ども向けワークショップ）の開催 2回	全市町	圏域への観光入込客数（人/年）	4,414,870	6,150,000	6,533,000	106.2%	◎	1市6町で構成する「麒麟のまち推進協議会」を中心に情報発信、商品造成、普及啓発などの取組を推進することにより、日本遺産や、麒麟獅子舞の圏域内外への浸透に寄与した。	引き続き1市6町をはじめ、DMOや観光協会等と連携を強化し、日本遺産を活かした地域活性化の取組を推進していく。	★
15	麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟のまち圏域での広域連携によるエリアプロモーション事業を展開し、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。また、マスコミ・メディアの本社が集中する首都圏において、各種情報の発信を行い、圏域の認知度アップ、イメージアップを図る。	麒麟のまち関西情報発信拠点の営業を行い、店内外のモニターディスプレイによるジオパークのPRやチラシ配架による圏域イベントのPRを行った。ときめき鳥取マルシェ（FEEL GOOD TOTTORI）を開催し、圏域の旬な野菜・果物や特産品の販売により、店舗と連動した販路拡大に努めている。 <ul style="list-style-type: none">・ジオパークPR企画（ジオパークの景色を店内及び外壁のモニターディスプレイで紹介）・6月～9月 夏の鳥取の味覚白イカメニューの販売・9月～10月 梨（二十世紀、新甘泉）販売・ときめき鳥取マルシェ（FEEL GOOD TOTTORI）月1回（2日間）	全市町	圏域を訪れる宿泊旅行者の観光消費額（DMO独自アンケート調査結果による）（円/人）	35,270円/人	35,900円/人	39,331円/人	109.6%	◎	平成29年度4月のオープン以来、圏域連携によるエリアプロモーション事業を展開し、延べ約35万人の方に来場者いただいている。交流人口の増加、移住定住の促進、圏域産品のPRなど販路拡大の拠点施設の役割を担っている。	麒麟のまち圏域の情報発信拠点の役割を継続する	
16	インターネットショッピング推進事業	圏域内の物産のイメージアップやブランド化のため、鳥取市が運営するインターネットショッピング「とっとり市（いち）」への出店を麒麟のまち圏域に拡大し、圏域一体となった物産の振興を図る。	【鳥取市】 出店店舗数の総数は増加しているが、圏域の出店店舗数は前年と同数に留まった。サイト内の商品ラインナップを増加する観点で、引き続き店舗数の増加を図っていく。 運営主体を市から業務委託を受けていた者に変更したが、引き続き、会員登録者やLINEお友達に限定した割引など各種キャンペーンを随時実施した結果、キャンペーンを除いた売上は前年より増加した。 出店店舗数 225店舗 ※上記のうち、圏域出店店舗数39店舗 商品数475商品 【岩美町】 繼続出店増減なし 【若桜町】 繼続出店増減なし 【智頭町】 新規出店1店舗 【八頭町】 出店辞退1店舗 【香美町】 繼続出店増減なし 【新温泉町】 繼続出店増減なし	全市町	出店店舗数（店）	188	195	225	115.4%	◎	【鳥取市】 スポット的にキャンペーンを実施した令和5年と比較し、キャンペーンを除いた売上は増加した。圏域内の出店店舗数の増加と合わせて、取り扱い商品のブランド力向上に資する取組を進める必要がある。 【岩美】【若桜町】【香美町】【新温泉町】令和5年度より出店店舗増減なし 【八頭町】 新規店舗登録の促進が必要。	【鳥取市】 令和7年度はサイトリニューアルが行われるが、引き続き売上のベースアップのため、圏域全体の参加店舗・商品数の増加を図るとともに、圏域外の消費者へ向けた広報にも注力していく。 【若桜町】新規店舗参入の促進を図りたい	
17	鳥取市公設地方卸売市場の再整備を行い、食品流通の拠点としての機能を強化することで、圏域全体の事業者の市場の活用を促進し、市場の取扱高を増加させ、圏域全体の経済成長をけん引する市場とする。	「鳥取市公設地方卸売市場経営戦略」に定める方針に基づき、現在地での建替え、機能を強化した閉鎖型施設への転換をはかっている。 <ul style="list-style-type: none">・4年度）基本設計業務と一部棟（水産物棟など）の実施設計・5年度）全棟の実施設計と4年度に実施設計済の水産物棟などの施工完了・6年度）花き・仲卸業者・関連事業者棟の施工完了	全市町	取扱高（千円/年）	7,145,773	7,145,773	7,461,885	104.4%	◎	・基本設計を含む設計施工の一括発注 ・市場施設（関連事業者棟の一部（花・仲卸業者・関連事業者）、青果棟）の施工 ・一部解体（管理事務所・トイレ・青果別棟・花市場の一部）	引き続き整備を進め、通行道路と作業エリアが混在している駐車施設・構内通路を更新することで、搬入・搬出経路を明確化し効率的な物流を可能とすることで、業務生産性の向上を図る。		
18	物産振興体制強化事業	特産品及び伝統工芸品等の販路拡大を図るために、鳥取市観光コンベンション協会に物産機能を整備するとともに、民芸や加工品を展示・販売する物産展へ出展し、PR販売を行うことで物産事業の振興・観光事業の発展・地産地消の推進を図る。	観光コンベンション協会の事業として、物産会員数を増加させるとともに、その会員から商品を受け、店頭販売、出展販売、掛売・客販販売及びネット販売を行っており、令和6年度中に新たに11社が物産会員に入会。 同協会が運営する「鳥取市ふるさと物産館」での購入客数は、令和5年度11,766人に対して、令和6年度は13,565人に増加した。 引き続き、物産会員の増加に向けた取組みを推進する。	全市町	ふるさと物産館での購入客数（人/年）	6,936	10,251	13,565	132.3%	◎	新規物産会員数11社のうち、鳥取市以外の事業者は1社にとどまった。 更なる商品ラインナップの強化に向け、引き続き会員数の増加を図っていく。	ふるさと物産館とインターネットショッピングモール「とっとり市」の運営を一元化することで、効果的に物産振興を図っていく。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
19	駅前太平線バード・ハット利用促進事業	麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に関わるイベント（行政系）等をバード・ハットで開催する際は使用料を免除し、交流人口の増加を図る。	●開催実績（来場者数）※令和7年3月31日時点 6件（約11,200人） 【7/13】サマーフェスタ2024with山陰三ッ星マーケット：新鳥取駅前地区商店街振興組合 ・イベント内出店「八頭町地場产品ブース」 【7/28・8/13】ファミリー縁日：新鳥取駅前地区商店街振興組合 ・イベント内出店「八頭町地場产品ブース」 【9/1】丸由2周年記念イベント：丸由百貨店 ・イベント内出店「八頭町地場产品ブース」 【11/9】鳥取エコグリーンフェスタ：鳥取県 ・イベント内出店「若桜町地場产品ブース」 【12/8】バード・ハットスペシャルクリスマス2024：新鳥取駅前地区商店街振興組合 ・イベント内出店「八頭町地場产品ブース」	全市町	利用回数 (回/年)	1	2	6	300.0%	◎	・実施件数、来場者数とともに前年度比大幅増となり、交流人口の増加や地域振興に寄与した。	・麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に係るイベント開催に向けた周知を積極的に行うなど、利用件数の向上に努めていく。	
20	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」支援事業	■観光DX事業（観光CRMシステムの導入） ・参画店舗：200店舗 ・会員数：9,981人 ①会員向けの定期的（各月2回）なメルマガ配信による観光情報の発信。 ②新規会員獲得キャンペーンの実施。（6/17～） ・新規登録者数：1,778人 ③スタンプラリー型周遊促進キャンペーんの実施（11/1～） ・参加者総数：2,149人 ④目的型キャンペーん（12/20～） ・参加者総数：6,850人 ■マーケティング事業 圏域内各観光施設等での独自ウェブアンケートの実施。 ・回答件数：2,763人 ■流通整備事業 ①3DMO連携山陰海岸ジオパーク周遊ルート造成 ・FAMトリップ（12/3～5）4人参加 ・4社で28件を販売 ②ローカル鉄道を活かした周遊促進事業 ・FAMトリップ（12/5～7、12/16～19）3人参加 ・2社で18件を販売 ■インバウンド受入環境整備事業 高付加価値化商品の造成9件やプロモーションツール「EXPLORE KIRIN NO MACHI」発行、各種商談会への参加、オペレーション体制の構築を実施。	全市町	圏域を訪れる宿泊旅行者の観光消費額（DMO独自アンケート調査結果による） (円/人)	35,270円/人	35,900円/人	39,331円/人	109.6%	◎	観光DX「このへん共和国」の登録会員数及び参画事業者数は引き続き、当初のKPIを大きく超えた実績となっています。新たに、周遊スタンプラリー機能や各店舗による独自キャンペーンの展開が可能となる機能拡充が図られたことから、各主体による圏域へ再訪問を促すための積極的な活用が求められる。また、大阪・関西版パック開催を契機とするインバウンド需要の拡大を見据え、体験商品の造成・販売とともに、受注体制強化のためツアーオペレーション機能の構築を行った。国内外からの幅広い受注に応えるため、より充実した体制整備が求められる。	観光DXシステムを通じたきめ細かな情報発信と自治体や個人事業者による積極的な活用展開を図り、誘客促進と観光消費の拡大を図ります。また、海外向けセールスを充実するとともに、FIT向けの受け入れ体制の充実を検討していきます。	★	
21	主要道路沿線エリア活性化事業	■鳥取自動車道活性化協議会 定時総会：令和6年7月12日開催 情報発信事業：観光冊子TORIVELERの制作（令和6年度中完成予定） モデルルート造成事業：鳥取自動車道を活用したモデルルートを造成（令和6年度中鳥取市観光サイトにて公開予定） ■国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会 総会：令和6年6月17日（月）開催 全日本29ロードウォーク：令和6年9月21日（土）～9月22日（日）開催（参加者数：167名） ルート29スタンプラリー：令和6年11月8日（金）～令和7年1月31日（金）（参加者数：779名） ■日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会 総会：令和6年6月17日（月）開催 新因幡ラインインスタ投稿キャンペーン：令和6年10月1日（日）～12月31日（火）	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	圏域を訪れる宿泊旅行者の観光消費額（DMO独自アンケート調査結果による） (円/人)	35,270円/人	35,900円/人	39,331円/人	109.6%	◎	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会・日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会では、映画ロケ地や観光名所等、沿線の注目スポットを巡るデジタルスタンプラリーの実施やSNSキャンペーンを行うことで、観光客の誘致及び交流人口の拡大を推進した。 鳥取自動車道活性化協議会事業においては、インバウンド需要のさらなる回復が見込まれる中、観光冊子TORIVELERの日本語版だけでなく英語版を作成し、受け入れ体制の強化に寄与してきた。また、鳥取自動車道を活用したドライブモデルルートを作成し、鳥取市観光サイト内に特集ページとして掲載を行った。	今後も各協議会において各市町が連携し、適宜事業の見直しも行いながらドライブモデルルートの広報やスタンプラリーの実施等により、主要道路の沿線地域の活性化を推進する。		
22	外国人観光客受入事業	各市町が連携し、外国人観光客の受入を促進する。	●鳥取市国際観光客サポートセンターで外国人観光客向けに観光案内（随時） ●台湾誘客プロモーション 現地旅行社会社と提携し、各種プロモーションを実施（5/31～6/3）。 ・Facebookでの情報発信（年間108回） ・現地旅行博での鳥取市PRブースの出展及び商談会への参加（5/31～6/3）。 ・台湾インフルエンサーを招聘しFAMツアーを実施（11/12～15）。 ●欧米豪向けプロモーション ・在日欧米豪富裕層外国人向け観光情報誌の制作 ENGAWA（株）と提携し、全編英語の麒麟のまち圏域の観光情報をまとめた情報誌を制作し、Tokyo Weekender本誌への同梱配送・首都圏へ配布。またTokyo Weekender公式WEBサイト、SNS、並びに海外メディア／旅行会社へのニュースレターでの配信。 ・FAMトリップの実施（9月） ANAあさんど（株）と提携し、欧米豪出身の在日外国人によるFAMトリップを実施。取材後は、Instagramで情報発信。 ・フランス向け観光情報発信（11月） (株) HISと提携し、HISのパリアンテナショップへ鳥取市PRブースを一ヶ月設置。旅時間（フランス語版）の制作。	全市町	国際観光客サポートセンターの利用者数 (人/年)	354	13,290	13,683	103.0%	◎	台湾や欧米豪に向け、効果的な情報発信を行い、外国人観光客の誘客促進につながった。 また国際観光客サポートセンターでは、外国人観光客の案内件数が令和元年度を上回り、インバウンドの案内拠点として機能を十分に果たした。	引き続き台湾を中心とした東アジア圏域へのプロモーションを行うとともに欧米豪の獲得も視野に、情報発信に取り組むことで、誘客促進につなげていきたい。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価		
23	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	因幡・北但西部圏域を周遊するバスツアーの企画及び運行の支援を行う。※既存コースの見直しと新規コースの開発による拡充	●鳥取・因幡を周遊するバスツアー（2コース） ・ジオコース（鳥取砂丘・浦富海岸） 6/22・6/29・7/13・7/27・8/3 8/17・8/24・9/8 計8本催行 ※ジオコース（インバウンド専用）10/4 催行予定 原風景コース 9/14・9/21 催行 10/5・10/12・10/26・11/2 催行予定 ※9/7は中止 ●乗車人数：計191人	全市町	バスツアーの参加者数（人/年）	130（令和5年度）	760	295	38.8%	×	R6年度は「ジオコース」と新しく「原風景コース」が増えた。「ジオコース」は去年よりも2倍近く増えている。インバウンド客も増えている。	今後はさらに色々なコースを増やし、インバウンド客の増加を図る。
24	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業	浦富海岸及び鳥取砂丘エリアを観光周遊するポンネットバスの運行の支援を行う。	ポンネットバスで浦富海岸・鳥取砂丘エリアを巡るツアーを4月から11月まで計6回催行した。 【催行実績】 ・バス愛好家さんコース 5月18日（土）催行 7名 10月26日（土）催行 11名 ・アニメ青コース 4月6日（土）申込少數で催行中止 6月29日（土）催行 6名 9月28日（土）催行 13名 11月9日（土）催行 4名 ・アニメ赤コース 4月7日（日）申込少數で催行中止 6月30日（日）申込少數で催行中止 9月29日（日）催行 9名 11月10日（日）申込少數で催行中止	鳥取市、岩美町	ポンネットバスの乗車人数（人/年）	127（令和5年度）	160	50	31.3%	×	エリア内の観光地を巡るバスツアーを実施することで新たな客層の誘致を図り、観光振興に寄与した。 老朽化するバスの更新も見据えながら今後の計画を立てていくことが求められる。 料金や運行内容の見直しなど、観光客の動向を踏まえて検討していく必要がある。	今後も引き続き新規顧客獲得等のため、エリア内の観光地を巡るバスツアーを実施し、新たな客層の誘致、観光振興に寄与する。
25	山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	フォーラム、研修会等の開催、案内看板の設置、リーフレットの作成等を行い、山陰海岸ジオパークの普及・啓発を行う。また、ジオガイド研修会等を開催し、ジオガイドの養成を行う。	・砂の美術館内世界のジオパーク展示パネル更新や、道の駅西いなば気楽里へのジオパークPR看板等の設置 ・ガイド交流会（参加者22名）、ガイド養成講座（参加者42名）の開催 ・どどり市報へのジオパーク関連記事掲載（7回）、新聞への広告掲載（2回）	鳥取市、岩美町、香美町、新温泉町	圏域の山陰海岸ジオパーク拠点施設入込客数（人/年）	855,790	1,090,000	1,065,581	97.8%	○	山陰海岸ジオパークの保全、活用の推進のほか、国内外のジオパークとのネットワーク活動にも取り組み、世界ジオパークの再認定を得ることができた。山陰海岸ジオパーク鳥取県連絡協議会が開催できなかつたため、今後連携していきたい。	再認定審査で出された課題について、山陰海岸ジオパーク鳥取県連絡協議会とも共有し、官民一体となって解決を目指すほか、新たな取り組みの検討も進めていきたい。
26	観光大学運営・活用事業	現在、鳥取市で実施している観光マイスター育成制度を圏域内へ拡充し、圏域内のホスピタリティー向上を目指す。	●第20期鳥取市観光大学（実績） 受講者：圏域内宿泊事業者等 通算の観光マイスター認定者：634名 日程：令和6年12月3日（火）～1月31日（金）までの6日間 開校式、座学、現地研修 令和7年2月6日（木）筆記・面接試験 10日（火）ドライバー試験 3月3日（月）鳥取観光マイスター認定証授与式 講義内容：観光の動向、鳥取民藝、外国人観光客への接し方、鳥取の食、鳥取城、鳥取砂丘、麒麟獅子舞日本遺産など	全市町	観光マイスター新規認定者数（人/年）	22	30	36	120.0%	○	令和6年度は、観光地の知識をより深めることを目標に研修をしており、今年は8回目の開催であったが、アンケートなどを取り、より、観光マイスターとして深い知識を得られるように努めた。	今後はより多くの観光マイスターの数を増やせるように、研修などに努める。
27	若者の地元定着促進事業	圏域の高校生を対象にした圏域企業見学会等を実施する。	①出張企業説明会 鳥取商業高校(11/14) 57人・6社 青谷高校(11/21) 43人・4社 鳥取湖陵高校 (3/13) 52人・8社 ②小規模企業見学会 鳥取西高校(7/10) 269人・30社 鳥取敬愛高校(7/25, 26) 29人・7社 八頭高校(9/24) 152人・14社 鳥取商業高校(10/2) 135人・15社 鳥取湖陵高校(11/1) 29人・5社	全市町	企業見学会参加人数（人/年）	843	850	766	90.1%	○	【鳥取市】 県内高校生の70%以上が進学し、その多くが県外へと進学する状況において、進学前の進路選択前の段階で地元企業の事業や魅力について知ってもらう取り組みを実施。 【岩美町】 県立岩美高校の要請に応じて出張説明会を実施していたが、この3年間は実績なし。 【若桜町】ハローワークや商工会と連携して実施する方針。	【鳥取市】 未実施の実施高校にも参加の働きかけをして、地元企業の認知度向上に向け取り組む。 【岩美町】 高校のカリキュラムや指導方針にもよるが、要請があれば商工会団体と連携して実施する方針。 【若桜町】ハローワークや商工会と連携し、地域のニーズを把握しつつ実施を検討したい。

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					R6	創生 総合 戦略		
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
28	国際経済交流推進事業	国際的な経済・観光交流促進を目的に設置している「鳥取市国際経済発展協議会」で実施する情報発信や貿易相談サポート等の業務について、支援対象範囲を麒麟のまち圏域に拡大する。	①企業の海外進出及び海外販路開拓等の海外展開に関する貿易相談・サポート →市内企業からの相談に応じ、商談会に同行するなど、商品の海外展開に関するサポートを行った。 ②海外商談会・経済ミッション等支援及びマッチング →台湾企業との商談の場を設け、市内企業の商品等のPRを実施。 ③国際観光（通訳等）の推進やインバウンド需要の取り込み。 ④依頼に応じて通訳サポート等を実施。 ⑤翻訳・通訳支援（主に企業・行政等対応） →市内事業者や行政の依頼に応じて文書・観光施設のパンフレット等の翻訳を行った。	全市町	インバウンド需要取り込みに向けた観光パンフレットなどの翻訳支援件数（件/年）	26	141	104	73.8%	△	市内事業者の身近な貿易相談・サポート窓口となっている。令和6年度は、令和5年度に引き続き、海外の人気インフルエンサー等への情報提供や案内により、海外への観光情報発信に寄与。また、翻訳支援件数を令和5年に比べ大きく伸ばすことができた。	外国人コーディネーターの力を活かし、引き続き相談、翻訳・通訳等の対応を行う他、海外販路拡大の手段として鳥取市コンベンション協会とも協力し、越境ECの支援を進めていきたい。	
29	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力事業	鳥取市立病院の初期及び後期研修医が岩美町国民健康保険岩美病院及び国民健康保険智頭病院において、地域医療研修を行う。	鳥取市立病院の初期研修医1名が令和6年7月1日から同月28日まで国民健康保険智頭病院で地域医療研修を行った。	鳥取市、岩美町、智頭町	本事業を継続して実施	継続	継続	継続	達成	◎	対象となる初期研修医のいなかった年度もあるが、令和6年度は該当医師1名が研修を行うことができた。令和7年度も実施見込みである。	今後も事業継続し、地域に必要な医師の養成に努める。	
30	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣事業	地域医療を確保するため、鳥取市立病院、国民健康保険智頭病院の医師が充足していない診療科へ、相互に医師派遣を行う。	鳥取市立病院の泌尿器科・外科・整形外科（整形外科は令和6年7月から）の医師が国民健康保険智頭病院で診療を行っている。 また、鳥取県からの要請により鳥取市立病院総合診療科医師1名を智頭病院院長として派遣している（令和4年10月から継続中） その他の鳥取市立病院でマンモグラフィの二次読影業務を実施している。	鳥取市、智頭町	本事業を継続して実施	継続	継続	継続	達成	◎	泌尿器科・外科・整形外科について市立病院から医師派遣を行い、智頭病院での診療を継続して行っている。また、市立病院でマンモグラフィの二次読影業務を実施している。	地域医療を確保するため、それぞれ医師が充足していない診療科への相互の医師派遣を継続していく。	
31	鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	夜間・休日の1次救急医療体制（内科・小児科）を確保するため、夜間・休日急患診療所の運営を行う。	【委託先】鳥取県東部医師会 【実施場所】東部医師会急患診療所（鳥取市富安1丁目58番地1） 【診療時間】 【夜間】通年（365日）：午後7時から午後10時まで。 【休日】日曜日・祝日、8月13日から8月15日まで、12月30日から翌年1月3日まで：午前9時から午後5時まで。 【患者実績】令和6年度 15,443人	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	急患診療所の開所	継続	継続	継続	達成	◎	急患診療所の運営（鳥取県東部医師会へ委託）により、夜間及び日曜・祝日等の休日に、診療を必要とする患者に医療を提供することができた。	引き続き事業を継続し、夜間・休日の1次救急医療体制を確保し、安定した医療提供体制を整備する。	
32	病院群輪番制運営支援事業	休日の2次から3次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行う。	【実施病院】市立病院、中央病院、生協病院、日赤病院の輪番制 【診療時間】第2土曜日、日曜・祝日等の休日及び年末年始：午前8時30分～翌日の午前8時30分 【実施日数】令和6年度 84日	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	病院群輪番制の実施	実施	継続	継続	達成	◎	休日における二次及び三次救急医療体制を確保し、安定した救急医療を提供した。	今後も対象病院の輪番日運営に対する支援を継続する。	
33	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	鳥取砂丘コナン空港の利用促進や利便性向上を図るために取組を行う。	○鳥取市、県、鳥取商工会議所が事務局を担当している「鳥取空港の利用を促進する懇話会」が中心となって、広告掲載、旅行会社の商品造成・販売支援、各種イベント等を実施。 ・鳥取～羽田便を利用する企画旅行を催行した旅行会社への支援 ○9/9国交省現地視察に係る意見交換会対応	全市町	東京便の搭乗者数（千人/年）	133	420	402	95.7%	○	インバウンド等の旅行需要の高まりに加え、地道な利用促進活動の展開が功を奏し、年間搭乗者数は6年ぶりに40万人を突破しコロナ前の水準を超えた。	さらなる利用者の増加に向け、2次交通の検討など利便性の向上や各種キャンペーン等の実施など利用促進に取り組む。	★
34	鳥取駅周辺再整備推進事業	麒麟のまち圏域の交通や交流の要衝地であり、経済・観光・交流・防災の拠点となる鳥取駅周辺の再整備を推進する。	10/10（木）第1回鳥取駅周辺再整備に係る麒麟のまち圏域担当者会議	全市町	研究・検討会議の実施（回）	0	1	1	100.0%	◎	情報交換と今後の連携について協議できた。	継続して開催していく。	
35	公共交通機関のキャッシュレス化推進事業	公共交通機関のキャッシュレス化に向けた取組を行う。	【鉄道】 ・JR西日本の倉吉～鳥取駅において交通系ICカードの運用を開始した。（R7.3月～）（圏域内の37駅のうち、7駅導入） ・JR各支社（山陰支社・兵庫支社）に交通系ICカードの導入要望を実施した。 【路線バス】 ・交通系ICカード導入に向けた協議会設立への参画 ・鳥取県東部圏域において路線バスの一日乗り放題電子チケットを企画し、販売開始した。 【共通】 ・鳥取県東部圏域において鉄道・バスの共通バスの実証実験を行った。	全市町	公共交通キャッシュレス化件数（件/年）	0	1	1	100.0%	◎	【鉄道】令和7年3月からJR西日本の倉吉～鳥取駅間ににおいて全国相互利用可能な交通系ICカードを導入され、キャッシュレス化を推進させるという本年度のKPIを達成した。しかしながら、圏域内のJR駅での導入は少ないため、引き続き、未導入駅への導入（特に、圏域各市町の特急停車駅である岩美駅、浜坂駅、香住駅、郡家駅、智頭駅）について、圏域一帯となって鉄道事業者への働きかけが必要。 【路線バス】交通系ICカードの導入に向けた道筋を立てることができた。事業化に向けた調整が必要。	引き続き、公共交通のキャッシュレス化によるシームレスな交通ネットワークの構築に向けて取り組む。	★

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	今後の取組方針	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
36	山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	関係市町と連携し、山陰新幹線の早期実現をめざし、関係機関への要望活動、啓発活動を積極的に実施する。	R6.7.16 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町会議 総会 R6.7.17 国土交通省、地元選出国会議員への要望活動（東京） R7.2.9 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町会議研修会	全市町	国等への要望活動回数及びシンポジウム等開催回数（回/年）	1	2	2	100.0%	◎	KPIは目標を達成した。引き続き、地元選出国会議員参加による総会の開催、国土交通省への要望活動等を継続実施することで、新幹線整備の早期実現に結び付けていく必要があると考える。	引き続き、要望活動やPR事業を通じた沿線地域の機運醸成、全国の他の新幹線整備期成同盟会等との連携強化を図るなど、整備計画格上げに向けた取組を推進する。	
37	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	圏域の活性化に向けて活動する「どどり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し地域課題の解決に取り組む。	令和6年5月から7月にかけて、3年生を対象とする講義「麒麟の知」の中で、麒麟地域を構成する6市町関係者から実践的な取組事例などを紹介するに加え、因州和紙職人で伝統工芸士の中原寛治様をゲストスピーカーとしてお招きし、自らの体験や想いをご講演いただくとともに、直に作品に触れる機会を設けた。また、令和7年1月23日（木）に「TUES地域連携フォーラム2024」を開催した。当日は、地域や関係機関から約50名が出席し、地域連携活動を実践する学生によるボルスターセッション、学生、教職員との意見交換を行った。 【鳥取市】 「どどり麒麟地域活性化プラットフォーム」の活動拠点である「まちなかキャンパス」での大学の地域貢献活動事業は、今年度、学内向けの事業（プロジェクト研究、大学院生授業等での利用）を実施するとともに、鳥取市近郊の中高生を対象に本学教職課程履修学生が学習支援に取り組む活動を行った。また、施設の一部に高校生を対象とした自習スペースを開設した。 【岩美町】 公立鳥取環境大学が整備・活用している「岩美むらなかキャンパス」では、今年度、学内向けの事業（ゼミ活動等での利用）を中心実施。また、公開講座、サイエンスカフェ等の地域貢献活動に活用した。	全市町	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と関係市町との連携事業数（事業/年）	2事業（1市1町）	全市町で1事業以上実施	2	達成	◎	公立鳥取環境大学の学生及び教職員と地域、関係機関が互いの活動や日頃抱えている想いを共有し、相互の地域連携事業の今後のあり方を考える機会となった。	今後も地域や関係機関と地域連携に関する活動内容等を共有し、継続的な取組みにつながる基盤の強化を図ることで、圏域の活性化を図っていく。	★
38	鳥取大学が実施する教育研究プロジェクト等との連携事業	鳥取大学地域価値創造研究教育機構が実施する教育研究プロジェクト等との連携により、地方自治体と鳥取大学の研究者や学生が協働で行う取組や実践的な活動を通じて、地域課題を発見し解決する力を備えた人材を育成する取組を融合的に推進することを目指す。	（鳥取市） ・人権意識調査および訴求性の高いデジタル素材の人権啓発事業の研究・社会的孤独孤立に関する地域課題把握調査・「かかやき企業」大学生による情報発信・福部町のまちづくり構想（地方創生プロジェクト） （岩美町） ・窓口BPRのため、大学生の協力で窓口体験調査を実施。・公民館活動のあり方について考察。・岩美町児童センターの整備に間に、設計業者選定委員会の委員長をお願いした。 （若桜町） ・医学部の先生を講師とした住民向け健康教室の開催・医学部の学生と地域で働く医師・地域住民との交流事業を実施・学生のフィールドワーク等の受け入れ（地方創生プロジェクト） （智頭町） ・5月19日に鳥取大学の学生17人が森林セラピーの体験、国指定重要文化財である石谷家住宅の見学を行った。森林セラピー体験は森で深呼吸、寝転がるなど五感を使った体験を行った。多くの学生が、普段体験できない感覚、リラックス出来た等の感想を述べていた。石谷家住宅では智頭杉を使用し建設された石谷家住宅の彫り込みなどの意匠を興味深そうに観察していた。 ・智頭町SDGsアドバイザリーボードを発展させ、地域での起業・創業を後押しする中間支援組織を組成し、その取り組みへのアドバイスを頂いた。 （八頭町）農業分野を中心に、地域課題の解決に向けて大学と連携して事業を行った。 ○農業分野 ・炭化剪定枝の樹園地施用方法と土壤炭素効果の検証・アスパラガス茎枯病の病害防除対策の確立事業 ・白ネギ土壤特性指標作成事業 ○その他 ・どどり暮らし早期体験学習・地方創生プロジェクト講座の受入れ（あーとふる八頭）・鳥取大学と八頭高校とが連携したイベント実施（クリスマスコンサート） （香美町）特になし （新温泉町）特になし	全市町	連携事業に取り組む自治体数（自治体/年）	2	1	5	500.0%	◎	昨年度に引き続き、各自治体と鳥取大学が連携し、各自治体が抱えている地域課題の解決に向けて取り組んだ。	鳥取大学では、令和6年4月までに、鳥取県内全19市町村と地域協働に係る連携協定を締結された。各自治体の取組を情報共有しながら、鳥取大学とのこれまでの連携をさらに発展させるとともに、今後もさまざまな分野で連携し、圏域自治体の課題解決や活性化に取り組む。また、それらの活動を通じて、地域課題を発見し解決する力を備えた人材の育成を目指す。	★
39	医療への関わり方の圏域住民への周知事業	医療の関わり方などについて、講演会等を開催し住民に周知する。	市民医療講演会を対面形式で3回（7/27, 9/28, 10/6）、収録形式で1回（8月）実施。その内容はケーブルテレビで放送するとともに動画共有サービスを通じて視聴できるようにしている。 また、公民館・集会所等に出向いて講演等を行う出前講座・依頼講演を15回実施している。 なお、このうち12月開催の出前講座についてケーブルテレビで放送されている。	全市町	継続して実施する。	継続	継続	継続	達成	◎	市民医療講演会の開催形式を見直し、病院としては発信したいテーマだが一般に認知度が低く来場者が見込めないものは収録形式を採用した。また、地域住民の要望に対応する出前講座・依頼講演を今年度から本格的に再開している。	今後も事業を継続し、地域住民へ医療のかかわり方・介護の現状などについて周知を図っていく。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
40	病児・病後児保育事業	就労等により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に利用するための各市町の病児・病後児保育施設を、圏域内の相互利用が可能となるよう広域化を図る。	●広域利用の実施状況 【病児保育施設】 病児保育室キッズルームこぐま（鳥取生協病院） 病児保育室くよしさかえまち 病児保育室くよしこやま コモド第三保育園瓦町 【病後児保育施設】 各市町の病児・病後児保育施設にじっこルーム（鳥取市立病院） 【令和6年4月から令和7年3月までの実績】 ・病児・病後児保育利用者数 延べ236人 岩美町 44人（こぐま3人、くよしさかえまち13人、くよしこやま28人） 八頭町 187人（こぐま68人、くよしさかえまち88人、くよしこやま25人、にじっこ6人） 若桜町 5人（こぐま5人）	全市町	継続して実施する。	継続	継続	継続	達成	◎	前年度（R5：延べ119人）と比べ約2倍弱の利用があった。 毎年度、一定数の利用があり、利用率も上がっていることから広域利用の必要性があると考えられる。	今後も本事業を継続し、保護者の子育てと就労等の両方を支援するとともに児童福祉の増進を図る。	
41	障がい者歯科診療所運営支援事業	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児（者）の歯科保健指導・歯科診療を行う鳥取県口腔総合保健センターの安定的な運営を支援することで、障がい児（者）の口腔健康の維持・向上を図る。	・障がい者歯科診療事業 毎週木曜日の午後に診療を行った。（医師2名体制） 延べ利用者数：（4～3月）508名（圏域全体の数字） 【内訳】鳥取市454名、岩美町21名、八頭町24名、新温泉町9名 ・歯科保健指導（歯科健康診断事業） 障がい者に対し、診断票による審査と結果に基づく保健指導及び各種相談の受付・助言を行った。 延べ利用者数：（4～3月）306名（圏域全体）	全市町	継続して実施する。	継続	継続	継続	達成	◎	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児（者）の歯科診療、また歯科健康診断と連携による保健指導の実施により、口腔ケアの重要性の意識向上に繋がることが出来た。	障がい児（者）の口腔健康の維持・向上を図るために継続していく。	
42	圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	圏域内における医療や介護の連携を強化し、住民の意向が強い在宅療養を推進するための地域資源の連携・活用に取り組む。	●鳥取県東部1市4町で協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施。（全8項目を実施中） ●新温泉町及び香美町を含めた1市6町で共同作成した、病院や介護施設でも使用できるA C Pノート（改訂版）を使用し、ACPの普及啓発を実施。 ●鳥取県東部で実施する多職種研修会へ美方郡関係者も参加。 ※研修会の一部はハイブリッド形式で開催するなどし、参加しやすい環境を整備。	全市町	関係者向け及び住民向け研修・講演の実施回数（回/年）	36	40	55	137.5%	◎	●鳥取県東部1市4町は協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施した。 ●KPIの目標（関係者向け及び住民向け研修・講演の実施回数）は達成した。 ●新温泉町及び香美町を含めた1市6町で共同作成したA C Pノート（改訂版）を活用し、関係者及び住民に対し A C Pの普及啓発を実施した。 ●鳥取県東部で実施する多職種研修会に美方郡関係者も参加した。	●今後もオンライン等を活用しながら、圏域内での在宅医療・介護連携の推進のため、関係者の研修、住民啓発等の事業を継続実施する。 ●多職種間の連携強化を図る。	★
43	社会福祉協議会各種相談事業	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に相談を広げて相談を受け付けている。連携町社会福祉協議会を通じて住民へ周知を行う。	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に相談を広げて相談を受け付けている。連携町社会福祉協議会を通じて住民へ周知を行う。	全市町	社会福祉協議会各種相談件数（件/年）	395	110	86	78.2%	○	弁護士や司法書士などの有資格者を専門相談員として配置することで、問題解決力を強化し、一般相談（心配ごと相談）だけでなく、多様化する相談への対応を行った。 また、広報誌での情報発信、各種研修等へ向け、事業の周知やニーズの把握を行った。	引き続き、ニーズに即した相談体制の維持を実施。	
44	鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取県東部聴覚障がい者センターを活用し、圏域内で均衡した聴覚障がい者の社会参加促進を支援する。	【聴覚障がい者意思疎通支援事業】 手話通訳者派遣（4～3月）2,530件（圏域全体の数字） 内訳：鳥取市2,408件、岩美町5件、八頭町52件、智頭町65件 要約筆記者派遣（4～3月）97件（鳥取市97件） 【手話奉仕員養成研修事業】 52名申込	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	手話奉仕員養成研修受講者数（人/年）	37	34	52	152.9%	◎	聴覚障がい者への手話通訳者等の派遣を、新たに救急要請（119番）の際に直接受けられる体制を構築したことと、聴覚障がい者にとっての安心につながった。	障がいのある人が有する能力及び適正にあわせ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、今後も継続していく。	
45	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	障がい児等への支援を行う保育者等に対し、療育を含めた各地域における障がい児等支援に関する理解を深める。	●児童発達支援センター若草学園における参加型公開療育は実施していない。 ●地域療育関係職員研修会を3月に実施。 ●地域療育セミナーは療育園との共同開催で実施してきたが、今年度より療育園の単独事業となり、鳥取市としては実施していない。	全市町	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内（回/年）	0	4	1	25.0%	✗	KPIは目標を達成できなかったが、圏域の保育者等を対象として研修等を実施し、発達に困難を抱える児童に対する支援を行った。	今後も、障がい児等支援に関する理解を深めるための研修を実施し、児童の発達支援の向上・充実を図る。	
46	点訳朗読奉仕員養成研修事業	視覚に障がいのある方の福祉に理解と熱意を有する方に、点訳・朗読の指導を行い、奉仕員を養成する。	【点訳奉仕員養成講習会】 受講者実人数：0名 内訳：東部0名 【朗読（音訳）奉仕員養成講習会】 受講者実人数：0名 内訳：東部0名	全市町	点訳朗読奉仕員養成講座受講修了者数（人/年）	13	5	0	0.0%	✗	東部中部西部と県内持ち回りで実施しており、今年度の講習会は西部会場であったこともあり、東部圏域からの受講者確保に至らなかった。	点訳・朗読奉仕員養成講習会による奉仕員の確保以外に、現任奉仕員のスキルアップは必要不可欠であることから、重点的に取り組んでいく。	

No.	事業名	事業概要	事業実績 (R6末時点)	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
47	地域活動支援センター事業	障がいのある人が、地域活動支援センターで創作活動や生産活動、社会との交流活動等を行うことにより社会参加を促進し、その能力や適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。サマーハウス及び鳥取県聴覚障害者協会が、創作活動や社会との交流の場等として設置する地域活動支援センターの運営を支援する。	生活支援事業、相談事業、地域交流活動、その他地域生活支援事業を行っている。 また聴覚障害者への対応もしている。 延べ利用者数：(4~3月) 5,982人（圏域全体）	全市町	年間延べ参加者数(人)	4,074	6,500	5,982	92.0%	○	障がいのある人が集える場を提供し、交流活動等を通じ自立した生活へつながった。また聴覚障がい者どうしの交流にもつながった。	障がいのある人の社会活動の拠点であり、今後も継続し支援していく。	
48	地域食堂支援事業	地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組む「地域食堂（こども食堂）」とそれを支援する各団体を結びつける役割を担う「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」を中間支援組織として強化し、広域的かつ効果的な支援を行うための事務局体制の確立・強化を図る。	●麒麟のまち地域食堂ネットワーク実施主体数 (R7.3月末) ○運営団体数：55（前年度末：42） ○支援団体数：64（前年度末：61）	全市町	地域食堂ネットワークで支援する「地域食堂（こども食堂）」数	25	31	55	177.4%	○	各自治体及び「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」の支援により、地域食堂が圏域の全市町に設置されるとともに、支援団体数の増にも繋がった。	「地域食堂ネットワーク」の組織体制の強化により、地域食堂の運営の充実に繋がるとともに、地域食堂の立上げ・運営に関する支援を実施して食堂数の増加を図る。	
49	麒麟のまち孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業	「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」の構成団体の拡充を図るとともに、「つながりサポート」養成研修の共同実施、物流業界との包括連携によるフードサポート事業を1市6町で連携して進め、地域共生社会の実現を図る。	●つながりサポートの新規登録者数 (R6年度（年間）) 377人（R5年度：212人、R4年度：41人） 「つながりサポート」養成研修」を継続的に実施することにより、当初の見込みを上回る新規登録者数となった。 今後も引き続き、圏域各地で養成研修を実施して登録者数の更なる増加を図る。	全市町	「つながりサポート」の登録者数(人/年)	0	100	377	377.0%	○	養成研修を圏域各地で実施し、つながりサポートの増加につながった一方、圏域の各自治体間で登録者数に差がある。	養成研修を継続的に実施し、つながりサポートの増加を図るとともに、圏域各自治体の登録者数の確保にも繋げる。	★
50	圏域の文化財情報連携事業	圏域各市町が連携して、圏域内全体の文化財情報を閲覧できるようにする。	ホームページの準備を現在実施しており、R6年度中に各市町の文化財情報をリンクさせる予定だったが、各町との協議を進められなかったことからホームページでの公開までは至らなかつた。	全市町	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数(件/年)	0	2,200	0	0.0%	×	各市町が文化財の情報をホームページ上で公開していることから統一的な文化財のリストを作成し、リストからリンクさせ各市町の情報が閲覧できるようにする。	各市町の文化財情報を相互連携で公開できるように事業を進める。	
51	麒麟のまち鳥取市美術展開催事業	鳥取市が開催する「麒麟のまち鳥取市美術展」の出品者を麒麟のまち圏域に拡大し、圏域内の住民に対し芸術作品の創作や鑑賞の機会を提供することにより、新たな出品者の確保による美術展の持続・発展を図ることで、圏域の文化芸術振興につなげる。	基準値の283点から出品数が減少しているが、各町による広報もあり、各町の出品数は概ね増加した。 会期：6月2日（日）～6月9日（日） 場所：鳥取県立博物館 観覧者数：1,897名	全市町	麒麟のまち鳥取市美術展の出品数(点/年)	283	295	268	90.8%	○	幅広い世代の芸術作品を展示する美術展を開催することにより、圏域住民に芸術作品の創作や鑑賞の機会を提供することで、圏域の文化芸術振興に貢献した。	本美術展を継続・発展させていくうえで、新たな出品者を確保していく必要があることを踏まえ、広報に力を入れるとともに、美術展の魅力を高めることによる出品意欲の喚起に取り組む。	
52	森のようちえん運営・活用事業	豊かな自然を活かし、自然環境を中心として野外で保育等を行う「森のようちえん」により、幼児期の心と体の育成に取り組む。	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組んだ。	鳥取市、智頭町	森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数(人)※平成22年度からの延べ人数	110	114	122	107.0%	○	入園を目的とした移住者は2名増え、これまで毎年増えている。	今後も本事業を継続し、子どもたちが心身ともに健やかに育つ環境整備等を支援するとともに移住者の増加を図る。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価	今後の取組方針	
53	麒麟のまち交流スポーツ大会事業	各市町又は圏域内市町間で行っているスポーツ大会を、圏域全体に参加対象を広げることにより、スポーツを通じた地域間の交流を図る。	【鳥取市】 「麒麟のまちスポーツ振興事業補助金」について、スポーツ事業を公募し、令和6年5月28日に審査会を実施。1件の事業を採択した。 ○第3回鷺峯山麓ハーフマラソン 令和6年11月10日（日）実施 参加：981人（鳥取445、岩美21、八頭14、智頭3、若桜2、新温泉3、香美16、その他477） 新温泉町：麒麟のまちスポーツレクリエーションフェスティバル2024inしんおんせん 令和6年12月1日（日）実施 参加：235人	全市町	参加者数 (人/年)	893	1,180	1,216	103.1%	◎	麒麟のまち圏域内から参加者を募るスポーツ大会等の開催により、多種多様なスポーツに圏域住民が親しむ機会の創出を支援し、麒麟のまち圏域内のスポーツの振興、圏域の活性化を図ることができた。	「麒麟のまちスポーツ振興事業補助金」については、所期の目的を達成し、令和6年度をもって終了となった。今後は、補助金を活用されていた事業が自走しながら進み、麒麟のまち圏域内のスポーツの振興、圏域の活性化が図られると考える。
54	国際理解推進交流事業	鳥取市に配置の国際交流員（英語圏・ドイツ担当1人、韓国担当1人、中国担当1人）が市民向けに行っている国際理解講座（料理教室、文化の紹介、語学等の講座）を6町で希望する団体等へも広げ、圏域全体における国際理解の推進を図る。	鳥取市内の地区公民館をはじめ、市内各大学や鳥取看護学校などに国際交流員を派遣し、料理教室や語学講座などの国際理解講座を実施した。 講座回数：45回 参加者数：672人	全市町	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数 (回/年)	41	60	45	75.0%	○	国際交流員が一時空席の期間もあり、目標値は下回った。 しかしながら、新たな団体から依頼を受けるなど、派遣事業の市民への認知を進めることができた。	引き続き、講座のメニューを工夫するなど、市内の小学校、公民館等での派遣回数を増やすとともに、圏域における派遣事業の周知を進めることで、さらなる国際理解の推進につなげられるよう取り組む。
55	公共図書館の相互利用事業	圏域内に居住している人はだれでも、圏域内の各公共図書館で資料が借りられる相互利用を行う。圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化を図る。	【1市6町】 圏域図書館に各図書館のチラシを配置。 【香美町】鳥取市電子図書館の利用案内チラシを各図書室に設置、合わせて町ホームページに掲載。香美町蔵書検索システムの導入。 【八頭町】 圏域自治体のチラシを図書館に設置。 7月27日（土）夏休みおはなし＆ワークショップ 「学ぼう！八頭町の麒麟獅子舞」 共催：株式会社ココヨMVP 【新温泉町】 8月5日～19日「切り絵でめぐる温泉の旅」小野寺マヤノさんによる作品展 共催：とっとりリーダーアカデミー	全市町	在住外登録者の利用冊数(総人口100人当たり)(冊)	12.8	14.5	17.6	121.4%	◎	(1市6町) 圏域全体でチラシの配置や鳥取市電子図書館の広報など、住民の利便性の向上を図り、読書活動の推進の取り組みを実施した。 【香美町】OPAC導入により、市民のインターネット上の非来館サービスについての関心は高まっているが、鳥取市電子図書館などの利用にはつながっていない。町内検索システムと合わせて、引き続き周知を行い、利用につなげていく工夫が必要。 【八頭町】これまで利用していた方の高齢化が進み、利用冊数が少しづつ減少している。新たな利用者の獲得を目指したい。 【新温泉町】	(1市6町) 引き続きSNS等を活用した広報を実施し、図書館の利用促進を図る。 【香美町】HPや蔵書検索システムを活用し、鳥取市の情報なども提供していきたい。 【八頭町】周知を行い、利用につなげていく工夫が必要。 【新温泉町】これまで利用していた方の高齢化が進み、利用冊数が少しづつ減少している。新たな利用者の獲得を目指したい。 【八頭町】圏域内の情報収集。SNS等を活用した広報の実施。
56	麒麟のまちアカデミー運営事業	鳥取市文化センターを生涯学習講座や講師等の情報の拠点とし、鳥取市尚徳大学（高齢者向け講座）、教養コース・技能コース（成人向け講座）への麒麟のまち圏域全体から参加を受け入れる「麒麟のまちアカデミー」を運営し、圏域相互の情報共有等により圏域全体の生涯学習の活性化を目指す。	尚徳大学 ・技能講座、教養講座 参加者数 延1,764人 ・合同学習 524人 技能・教養コース ・技能講座 参加者数 延433人 ・教養講座 参加者数 延260人	全市町	生涯学習講座の参加者の満足度(%)	83.3	86.0	88.0	102.3%	◎	広報や各町との連携を進めた結果、圏域内からの各講座参加者が令和5年度より増加した。また講座のネット配信も行ったことで、誰でも講座を見れる環境を提供した。 今後も講座内容や受講に関する仕組みをニーズに合ったものに見直し、新規の申込増を図っていく。	引き続き、様々な生涯学習の学びの場の提供をするとともに、圏域住民の利用拡大を推進する。
57	野生鳥獣被害防止事業	鳥獣被害防止対策連絡調整会議を開催するとともに、侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を実施	侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を実施 【岩美町】令和6年度に捕獲鳥獣処理施設として町内に一時冷凍保管施設を設置し、町外のペットフード加工業者に運搬、処理する体制を整備した	全市町	年間被害面積(㏊/年)	約5,000	3,500	3,067	114.1%	◎	鳥取市はR3（基準）と比較し被害面積は増加している。また、鳥取市と岩美町では前年被害を上回った。他町は前年実績を下回り、対策について一定の効果が表れたものと考えられる。 捕獲頭数が増加していることからも個体数が増加しているものと考えられるが、捕獲者の高齢化や後継者不足が進行しており、現在の捕獲体制の維持のためにも担い手育成が喫緊の課題となっている。	引き続き、鳥獣被害対策に係る支援を実施する。鳥取市が令和5年度導入した鳥獣捕獲システムのエリア拡大、効率的な運用により狩獵者の負担軽減や捕獲対策への活用を図りながら、連携自治体へも情報共有やシステム連携の提案を検討したい。
58	射撃場整備・管理運営事業	農作物に被害を与える野生鳥獣の捕獲のための射撃練習や射撃講習ができる射撃場を整備し、銃獵者を育成・確保する。	前年並みの利用者数となっている。 原因として、ロシア、ウクライナ情勢による弾代の高騰が利用者数の伸び悩みの一因とも考えられる。 その他、教習射撃（6回・12名）、技能講習（7回・9名）実施している。	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	鳥取クレー射撃場利用者数(人/年)	899	750	648	86.4%	○	令和5年度より教習射撃講習及び技能講習を実施できることとなり、地域狩獵者の育成に取り組む体制となったが、近年の弾代高騰や狩獵者の高齢化など、多方面の課題がある。	捕獲推進、捕獲技術向上のため引き続き支援を行っていく。

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
59	いなばのジビエ推進協議会支援事業	猪や鹿等の有害鳥獣をジビエとして有効活用するため、先進事例研究やイメージアップ及び消費拡大に向けた取組を行う。	○主催イベント ・ジビエハンターの育成 4回 ・衛生管理等の支援 3回 ・学校連携 4校 ・料理教室 3回 計216人 ○参加イベント ・わかさ道の駅 バイクとジビエイベント ・ねんりんピック2024 ・倉吉やきとりフェス2024 ・どっとリジビエフェス2024 ・スポーツテック2024 ・Food Style Japan 2024 ・みどりの食料システムEXPO ほか 来場者数 186,984名以上	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	いなばのジビエ推進協議会主催イベント等参加人数（人／年）	500	10,000	187,200	1872.0%	◎	多方面にわたりジビエの普及啓発を行っている。	引き続き協議会の活動に参加・支援することで、ジビエの普及につながる取り組みを図っていく。	
60	グリーンツーリズム推進事業	都市住民との交流、グリーンツーリズムに取り組んでいる地域・団体で構成するグリーンツーリズム連絡会等の活動やそれぞれの地域活動を支援する。	【鳥取市】 令和7年1月20日 鳥取市グリーンツーリズム連絡会主催で令和6年度第1回鳥取市グリーンツーリズム連絡会研修会開催。 【香美町】 実績なし 【新温泉町】 実績なし（団体の解散のため）	鳥取市、香美町、新温泉町	グリーンツーリズム連携団体が主催する体験事業の参加者総数（宿泊を伴うもののみ）（人／年）	440	650	632	97.2%	○	小学校の受入等もあり、参加者数は増加傾向にあるが、団体解散等の影響もあり目標を達成できなかった。	引き続き、都市住民との交流が盛んに行われるよう取り組む。	
61	森林セラピー事業	智頭町の90%以上を占める森林資源を活用し、住民の健康増進はもとより、都市住民との交流・誘客・企業提携などによる地域の活力創造と、疎開の町としての癒しの里づくりを進める。	鳥取銀行新入行員研修 1件 ギブスピアラル・ジャパン 1件	鳥取市、智頭町	森林セラピー導入企業数（社／年）	1	1	2	200.0%	◎	令和5年度体験者数をわずかに上回る受入となつたが、体験者のほとんどが企業関係者、研修などの体験であった。インバウンド向けのモニターシアターの受入も何度かあったが、その後は声がかからっていない状況。	連携協定企業等へ体験の案内、インバウンド誘客方法検討、大人数の体験受入を可能とするためのガイド受入体制強化	
62	麒麟のまち創生戦略会議運営事業	麒麟獅子文化をはじめとする、さまざまな文化・歴史を共有する、因幡・但馬地域のそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図る。	○令和6年5月7日：麒麟のまち創生戦略会議を開催。 新日本遺産「麒麟のまち推進協議会」の取組状況、（一社）麒麟のまち観光局の取組状況、デジタル田園都市国家構想交付金、若者定住促進事業について首長協議を実施。 ○令和6年11月11日：麒麟のまち創生戦略会議・サミットを開催。 サミットでは、「麒麟のまち圏域における未利用公共施設の活用方法と課題について」意見交換を実施。 麒麟のまち創生戦略会議（首長会議）では、「日本遺産・麒麟のまち推進協議会」や（一社）麒麟のまち観光局の令和6年度事業の進捗状況及び令和7年度事業計画・予算、麒麟のまち圏域における鉄道利用促進、第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの取組状況等について首長協議を実施。 ○令和7年2月4日：麒麟のまち創生戦略会議を開催。 第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの事業の見直し等、麒麟のまち未利用公共施設検討会議の開催、令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金事業、第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの改定、「因幡・但馬麒麟のまち創生総合戦略」の策定について首長協議を実施。	全市町	サミット開催数（回／年）	1	1	1	100.0%	◎	麒麟のまち創生戦略会議を開催し、麒麟のまち圏域の一体的かつ持続的な発展を目指し、連携の取組について協議を行つた。	引き続き、麒麟のまち圏域構成市町で連携を図りながら、圏域全体の発展を目指し取組を進める。	
63	地域づくり人材育成事業	各地域の地域づくり活動を行う団体・者の取組状況の発表や意見交換の場所を設定し、活動の成功例・失敗例、課題問題点などの情報共有化を進めることで、地域が連携した地域活動の推進を図る。とともに、併せて地域相互間の往来を促す取組を行うことで、地域間交流の促進を図る。	とっとりリーダーアカデミーの各種ゼミを実施。麒麟のまち圏域では7月に新温泉町でゼミを実施した。 3月には成果発表会を実施。	全市町	参加団体数（回／年）	14	15	15	100.0%	◎	平成23年度から実施した過疎地帯等人材養成事業「とっとりふるさと元気塾」を受講したリーダーを対象に、より専門的・実践的な講座として「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を開催。令和5年には「とっとりリーダーアカデミー」と名称を改め、各地域で具体的な活動を立ち上げて自ら地域活性化に取り組んでいく人材を養成する。令和6年度は15名のリーダーを認定した。	令和7年度以降も事業を継続する。麒麟のまち交流ゼミは1回程度開催予定。	
64	圏域防災力の向上事業	圏域内における防災情報連携により「自助・共助・公助」それぞれの機能を促進させ、圏域防災力の向上に取り組む。	防災担当職員合同研修として、「鳥取市防災の日（9月10日）」に、地域の防災拠点である小学校において、自主防災組織が主体となって実施する避難所開設訓練及び防災関係機関による各種展示を実施した「鳥取市防災訓練」に参加してもらった。	全市町	防災情報連携事業数（事業／年）	1	2	1	50.0%	△	自主防災組織の取組や避難所開設・避難所運営業務等に対する課題等について、意見交換を行うことができ、防災情報の連携及び防災力の向上を図る機会とることができた。	今後も、防災担当職員合同研修の実施等による防災情報の共有、また発災時の連携体制の強化を図る等、圏域防災力の向上に取り組んでいく。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
65	ごみ減量化推進事業	ごみに対する啓発事業を各市町で連携して行っていく。また、生ごみ堆肥化容器の購入促進等の具体的な減量化の取り組みを行い、家庭から排出されるごみの減量化を図る。	【鳥取市】 生ごみ堆肥化容器購入補助 28件：94,500円 生ごみ堆肥化基材購入補助 24件：43,700円 段ボールコンポスト講習会 3回 【岩美町】 コンポスト購入補助 2件： 6,100円 生ごみ処理機購入補助 12件：282,500円 【若桜町】 非電動家庭用生ごみ処理機購入費補助 0件 電動家庭用生ごみ処理機購入費補助 2件:40,000円 【智頭町】 生ごみ処理機購入補助 3件 30,000円 生ごみ分別収集 49† 【八頭町】 コンポスト購入補助 4件 電動式生ごみ処理機補助 18件 生ごみ分別収集 162† 果実ごみ液肥・堆肥化事業補助 排出量11,572kg 堆肥生成量729kg 【新温泉町】 新温泉町生ごみ自家処理機購入費補助金 コンポスト購入補助 3件:9,644円 電気式生ごみ処理機購入補助 4件：100,000円	鳥取市、 若桜町、 智頭町、 八頭町、 新温泉町	可燃ごみ の処理量 (t/年)	57,799	56,648	54,725	103.5%	◎	生ごみ減量化の取り組みは、可燃ごみ処理量減少は元より CO2削減・環境負荷低減に寄与している。 今後も家庭で出るごみの減量化に向けて、生ごみ減量化の取組の拡充や新たな事業の発掘を図るほか、より身近で簡単な効果が期待できる取組についても研究していく必要がある。	家庭でできるごみの減量化支援として、生ごみ堆肥化容器等の購入費用の助成を継続するとともに、更なる減量化に効果的な施策の実施について研究を行う。併せて、「リビングなば」の活用も含めた住民向けのごみに対する啓発事業を各市町で連携して行うことで家庭から排出されるごみの減量化を進める。	
66	太陽光発電設備等共同購入事業	再生可能エネルギーの導入を促進し脱炭素社会の実現を推進するため、麒麟のまち圏域で太陽光発電設備等の共同購入事業を行う。	2024年度登録数 216件 鳥取市 192件 新温泉町 7件 若桜町 3件 不明 4件 2024年度契約者数 26件 鳥取市 23件 新温泉町 3件	鳥取市、 若桜町、 新温泉町	太陽光発電設備等 共同購入 事業の参 加登録数 (件/累 計)	0	200	212	106.0%	◎	目標としていた登録数を達成し、家庭単位で行える再生可能エネルギーの導入促進に繋がった。	協定を締結した市町が協力し、広く住民周知を図る。	
67	JR山陰本線利用促進事業	山陰本線の利用促進や利便性の向上を図るための取組や要望活動を行う。	■鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（事務局：県交通政策課）として、事業周知 ・山陰本線を利用した旅行に係る経費支援 ・定期利用モニタリング調査に協力する者に対する通勤定期券等の購入費用等の助成 ・山陰本線駅スタンプラリーのイベント（12月28日～4月13日） ■山陰本線・福知山線鉄道整備・利用促進協議会として、要望活動をJR西日本旅客鉄道株式会社（11月）、国土交通省（11月）へ行った。	鳥取市、 若桜町、 新温泉町	地域鉄道 (山陰本 線)に對 する満足 度(住民 アンケ ート)※目 標値は令 和8年度	0	-	未確定 (R8調査実 施予定)	未確定	—	人口減少等の影響で輸送人員が減少傾向にあり、JR西日本も厳しい経営状況にある。	旅行需要の拡大や関西万博の開催などを見据え、観光客の取り込みを視野に入れた戦略を検討するとともに、引き続きJR西日本や商工観光団体等と連携して利用促進策や利便性の向上に取り組む。	★
68	智頭線・因美線利用促進事業	智頭線、因美線の利用促進や利便性の向上を図るための取組や要望活動を行う。	■智頭線利用促進協議会（事務局：県交通政策課）として、利用促進事業を周知。 ・遠足に智頭線を利用する際の助成 ・通勤定期モニターア助成による通勤利用者増の取り組み ■因美線・津山線近代化促進期成同盟会（事務局：県交通政策課）として、西日本旅客鉄道山陰支社、岡山支社へ要望書を提出準備。（2月）	鳥取市、 智頭町、 八頭町	地域鉄道 (智頭 線・因美 線)に對 する満足 度(住民 アンケ ート)※目 標値は令 和8年度	0	-	未確定 (R8調査実 施予定)	未確定	—	人口減少や自動車の普及等の影響で輸送人員がコロナ前と比較すると減少傾向である。	旅行需要の拡大や関西万博の開催などを見据え、観光客の取り込みを視野に入れた戦略を検討するとともに、引き続きJR西日本や関係団体等と連携して利用促進策や利便性の向上に取り組む。	★
69	広域バス路線等運行支援事業	圏域内を運行する広域バス路線を維持するための財政支援を行う。	圏域内に運行されている路線バスの運行事業者に対し、運行経費の一部を支援することで、バス路線を維持し、圏域内の移動手段を確保した。	鳥取市、 若桜町、 智頭町、 八頭町	広域バス 路線数 (年)	3	3	3	100.0%	◎	マイカーの普及等によって路線バス輸送人員は減少傾向にあり、バス路線の維持には補助金交付が必要となっている。	今後も、バス路線維持のために補助金を交付するとともに、利用促進策や輸送量・移動ニーズに応じたバス路線の再編にも取り組んでいく必要がある。	★
70	若桜鉄道利用促進事業	若桜鉄道の利用促進や利便性の向上に資する取組を行う。	■若桜鉄道利用促進実行委員会（事務局：八頭町）として ・イベント助成や観光列車を活用した商品開発等に対する助成等を実施 ・1日フリー切符割引キャンペーの周知（7/13～8/25：12/1～2/28） ・デジタルスタンプラリーの実施（3/14～5/31）	鳥取市、 若桜町、 八頭町	若桜鉄道 の乗客数 (千人/年)	377.9	379.0	422.0	111.3%	◎	観光列車や鉄道遺産を活用した利用促進策や、子育て世代の利用促進に取り組んだ結果、前年度並の輸送人員を維持した。	引き続き、圏域内住民を対象とした利用促進事業を実施するとともに、沿線観光施設や他の公共交通機関とも連携した利用促進施策を展開する。	★
71	持続可能な生活交通等の維持・確保対策事業	将来にわたり持続可能な生活路線バス等の維持・確保に向けた様々な取組を行う。	■鳥取県東部地域MaaS協議会等において、お得に移動や飲食等が楽しめるノルデチケット（麒麟のまちノルデ運動）の導入に向けた実証実験の実施した。（R6.7月20日～R7.3月31日） ■鳥取県東部地域MaaS協議会において、鉄道・バス共通バスの販売を行い、導入に向けた実証実験の実施した。（R6.4月1日～R6.10月31日） ■新たな交通手段として鳥取駅南エリアにおいてAIオンデマンド乗合交通の実証実験を行い、地域に定着するか検証を行った。（R6.5月20日～R7.3月31日）	全市町	地域のバ スに對す る満足度 (住民ア ンケート)※目 標値は令 和8年度	0	-	未確定 (R8調査実 施予定)	未確定	—	鳥取県東部地域MaaS協議会を開催し、飲食店との連携や鉄道・バスの共通バスの発行などに取り組み、マイカーから公共交通機関への転換を促してきた。	今後は、定額制電子チケットの試験導入など、各交通手段をシームレスにつなぐことで公共交通の利用促進を図る。	

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価	今後の取組方針	
72	ICTインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	CATVのコンテンツとして、各市町の話題・イベント情報をお互いに情報発信することで地域間の交流を促進させる。	【鳥取市】広報番組「とっとり知らせたい！」の中に「麒麟のまち放送局」のコーナーを設け、各町の提供映像を紹介。毎週1つの町を放送、時間は5分程度。 【新温泉町】3市町分まとめて毎日繰り返し放送。1日3回。 【八頭町】3市町分まとめて毎日（6回程度）繰り返し放送。 【岩美町】月末の土日に3市町分をまとめて放送。1日2回。	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	CATVでの相互放送（継続実施）	実施	実施	実施	達成	◎	CATVのコンテンツとして、各市町の話題・イベント情報をお互いに情報発信することで、各地域内住民が情報共有による交流促進や圏域全体の一体感の醸成が図られた。	引き続き情報発信に努める。
73	DX施策の情報連携及びICT関係機器・システム等の共同調達事業	各市町で検討する施策の情報共有を行うとともに、関係市町と連携し、共同でICT関連機器・データ・アプリケーション等の共同調達を行う。	情報共有のための会議を1回開催 ※麒麟のまち圏域DX検討会議の中で実施 ●第1回 令和6年11月21日（鳥取市役所） 各市町が実施又は検討しているICT技術を活用した取組について ※2月に予定していた第2回会議は大雪の影響等により中止となった ※令和6年8月及び10月に実施したMicrosoftOffice研修（主催：鳥取市）に、連携町から48名がWebで参加	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	情報共有のための会議開催数（回/年）	0	2	1	50.0%	△	麒麟のまち圏域DX検討会議において、ICT関連機器等の導入に向けた検討状況について情報共有を図った。	市町が共通して必要としているICT関連機器等の共同化に向けた検討を継続して進めていく。
74	若者定住促進事業	婚活サポートセンターを活用し、圏域内外の独身男女の出会いの機会を提供する。また、圏域で実施する婚活イベントや婚活サポートの情報共有と事業の連携を行うとともに、若者が集う場の創出を図る。	「麒麟のまち婚活サポートセンター」を運営し、毎月4回程度のイベントを実施。 令和6年度に、婚活相談会や交流会を含むイベントを70回（婚活イベント42回、婚活相談会等17回、サークル活動11回）開催。 <麒麟のまち圏域各町で開催の婚活イベント> 5月18日（土）但馬ビーフレストラン楓（新温泉町） 6月15日（土）若桜公民館、とんかつ新、ギャラリーふく（若桜町） 7月20日（土）アルマーレ（岩美町） 8月24日（土）香美町文化会館、旬菜dining膳（香美町） 9月28日（土）大江の郷（八頭町） 10月27日（日）楽之（智頭町） ※その他、鳥取市において婚活イベント等を開催。 <主な実績（令和7年3月末時点）> 【会員登録数】2,560人 【会員登録数】583人 【イベント会員】1,707人（うち鳥取市以外の麒麟のまち圏域住民：1,507人） 【カップル成立数】77組 【成婚者数（成婚による退会者を含む）】22人 ※上記のうち、会員同士の成婚報告数4組	全市町	麒麟のまち婚活サポートセンターの会員同士の成婚報告数の累計（組）	5.6組／年（平成29年～令和3年の平均値）	12	5	41.7%	✗	KPIは目標を達成できなかったが、令和6年度の取組で、イベントでのカップルは77組成立している。また、令和5年度より就任いただいているアドバイザーを招いて実施した婚活イベントでは、参加者数53名（男性31名、女性22名）中、19組のカップルが成立した。今後の課題として、カップル成立から交際につなげられるようなフォローアップ、また、カップル解消者にはヒアリングなどを実施しアドバイスを行うなど、次につながるフォローアップの強化が必要と考える。	引き続き、会員へのフォローアップを充実させるとともに、従来の婚活イベント等に加え、気軽に参加できるイベントを提供し、会員同士の交流を図るなど、カップル成立から交際、さらには成婚につなげられるよう取り組む。
75	圏域移住促進事業	都市部で開催される移住相談会への出展や地域の魅力・施策等の情報発信、移住相談員の資質向上など圏域への移住促進に資する事業を共同で行う。	ふるさと回帰支援センター主催の全国規模の移住相談会への合同出展を2回実施。 <主な実績> ・令和6年7月20日（土） おいでや！いなか暮らしぐエア2024 地域延べ相談実績 61組79名 ・令和6年9月21日（土） 第20回ふるさと回帰フェア2024 圏域延べ相談実績 44組67名	全市町	圏域市町への移住者数（人/年）	780	865	782	90.4%	○	ふるさと回帰支援センター主催の全国規模の移住相談会への合同出展を2回実施し、圏域市町への移住促進を図った。	多くの来場者と対面で相談を受けられる機会であるため、今後も積極的に共同出展を行っていく。
76	鳥取すごい！ライド支援事業	大規模サイクリングイベント「鳥取すごい！ライド」（主催：鳥取すごい！ライド実行委員会）の運営支援を行い、鳥取市と周辺町との連携により、自転車による周遊を活用した鳥取県東部地域における地域資源の魅力発信を行う。	【令和6年度】以下の内容で実施 実施日：令和6年9月28日（日） 「鳥取すごい！ライド2024」開催 会場：鳥取港埠頭特設会場（スタート/ゴール） コース：ロング115km、ショート55km エイド： ①浦富海岸島めぐり遊覧船のりば ②殿ダム記念広場 ③郡家駅 ④OQE VALLEY STAY ⑤RICOH ⑥吉岡温泉 <ショート> ①福部庁総合支所 ②宮下公民館 ③RICOH ④吉岡温泉 参加者：464名	鳥取市、岩美町、八頭町	鳥取すごい！ライドの参加者数（人/年）	279	700	464	66.3%	△	当該事業により、県内外からのイベント参加者が圏域市町の中山間地域等をめぐり、地域の魅力発信が図られた。	今後も県内外のサイクリストに対し、鳥取市及び県東部圏域の魅力発信を図っていく。
77	広報誌リレー記事掲載事業	連携事業の周知を図る目的で、リレー記事方式で連携他市町の情報を掲載する。	平成30年12月号より隔月にて連携他市町の情報を「麒麟のまちインフォメーション」として、各市町の広報紙へ掲載。 【掲載内容】 ・イベントや事業への参加者募集、紹介など（圏域住民の交流が深まるもの） 【掲載順序】 4月：岩美町、6月：八頭町、8月：新温泉町、 10月：香美町、12月：鳥取市、2月：智頭町	全市町	掲載回数（回/年）	6	6	6	100.0%	◎	各地域の基幹的な広報媒体である市報・町報に圏域市町の話題やイベント情報を掲載し、圏域内の相互理解・交流を促進した。	引き続き相互掲載を行い、情報発信に努めるとともに圏域市町の連携強化を図る。

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価		
78	圏域全体のエリアプロモーション事業	圏域全体のエリアプロモーション事業を行い、圏域ブランド周知・定着を図ることで、観光客誘致や移住定住の促進につなげる。	<p>■観光プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> （一社）鳥取市観光コンベンション協会の運営する観光ホームページで圏域の観光情報を一体発信 台湾現地旅行会社と連携し、facebookで麒麟のまち圏域の魅力を発信中（フォロワー数6.5万人）。台湾インフルエンサーを招へいし、SNSで情報発信。 麒麟のまち圏域の魅力ある観光情報を発信するため観光・ジオパーク推進課公式Instagram『tottoco official（トットコオフィシャル）』（フォロワー数2,306人）や、麒麟のまち観光局公式Instagram『Kirintown』（フォロワー数1,478人）を開設し運用中。 圏域のファンクラブ「このへん共和国」を運用し会員向けに定期的に圏域内の観光情報を発信。（R7.3現在、会員数9,981人） <p>■エリアプロモーション</p> <p>麒麟のまち圏域の魅力が伝わる場所やお気に入りの場所などの写真をInstagramに投稿してもう募集型キャンペーンをとおして、圏域内周遊を促進するとともに、圏域の魅力を様々な角度から発信することで、圏域住民の愛着度・認知度向上や圏域外への魅力を発信。</p> <p>※募集期間：令和6年7月1日～12月27日</p> <p>投稿作品総数：705点（うち、鳥取市397点、岩美町82点、若桜町43点、智頭町37点、八頭町63点、香美町37点、新温泉町46点）入賞作品等をまとめたパンフレットを制作し、圏域内の小中学校や香光連施設等への配布を実施。</p>	全市町	圏域への観光入込客数（人/年）	4,414,870	6,150,000	6,533,000	106.2%	◎	（一社）鳥取市観光コンベンション協会ホームページの閲覧者数の増加や、（一社）麒麟のまち観光局が運用する圏域のファンクラブ「このへん共和国」を通じた会員向けのブッシュ型の情報発信によって、エリアプロモーションの強化につながった。一方で、いずれも日本語のみであり、今後はサイトの多言語化を図る必要がある。	多角的な手段によって魅力的な観光情報の発信をすることはもどり、一元的な情報発信など効率的な情報発信体制の構築を検討していく。また、引き続き、圏域内周遊や愛着度向上を図りながら、圏域全体の活性化につながるよう取り組む。
79	麒麟のまち圏域DX検討会事業	麒麟のまち圏域の各市町が実施又は検討しているデジタル技術を活用した取組を共有し、圏域内での横展開や共同実施などを検討することで、各市町における課題解決や地域活性化を促進する。	<p>麒麟のまち圏域DX検討会議を1回実施</p> <p>●第1回 令和6年11月21日（鳥取市役所）</p> <p>各市町が実施又は検討しているICT技術を活用した取組について</p> <p>※2月に予定していた第2回会議は大雪の影響等により中止となった</p> <p>※令和6年8月及び10月に実施したMicrosoftOffice研修（主催：鳥取市）に、連携町から48名がWebで参加</p>	全市町	検討会の開催回数（回/年）	0	2	1	50.0%	△	各市町で実施中または実施を予定している事業の共有を図ることができた。	圏域全体で地域課題を解決していくため、市町が連携して実施できる事業を検討する。
80	人権集会等開催事業	人権尊重社会を実現する集会を柱とし、圏域で実施する人権問題に関わる啓発・教育活動の情報共有と事業の連携を行うことで、圏域内の住民の人権意識の高揚を図り、共に支え合う社会の実現をめざす。	<p>第50回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会</p> <p>○主題 誰もが自分らしく暮らすことのできる地域 共生のまちづくり～麒麟のまち圏域でさらに人権尊重の輪を広げよう～</p> <p>○日時 令和6年8月23日（金）9:30～15:30</p> <p>○会場 とりぎん文化会館・鳥取県庁講堂</p> <p>○日程 9:30～記念公演 無形民俗文化財 円通寺人形芝居 10:00～開会行事、基調提案 10:30～講演 神田 香織さん（講談師）はだしのゲン～9歳の少年がみた戦争と原爆の眞実～ 10:00～分科会</p> <p><分科会概要></p> <p>1 子どもの人権 子どもたちの声を“きく”とは？～子どもアドボカシー Part2～坂口泰司さん</p> <p>2 男女共同参画 ひきこもり本人と家族への理解と支援について 池上正樹さん</p> <p>3 同和問題（部落差別） 差別禁止法を求める！ 奥田均さん</p> <p>4 障がいのある人の人権 きこえない人も誰もが暮らしやすい社会とは 下堂薗里美さん</p> <p>5 地域における人権の取組 【実践報告】日進地区人推協会長 戸田倫弘さん、湖山地区人推協会長 田中忠義さん</p> <p>【研究討議】助言者：谷口謙さん、谷本清通さん</p> <p>6 企業における人権 ひきこもり本人と家族への理解と支援について 池上正樹さん</p> <p>7 特別分科会（社会的孤独・孤立） つながりサポート～養成研修 竹本匡吾さん</p> <p><主な実績（令和7年度3月末時点）></p> <p>参加者数 1,145人（うち圏域参加者数 47人）、オンライン視聴者数 22人</p>	全市町	市民集会参加者の満足度（%）	0	80	85	106.3%	◎	各町とは本集会へ後援、広報、助言者としての参画など連携して取り組んだ。また、全体会においては、オンライン配信をするなど遠方からの参画を促す取組を行った。圏域内での人権意識の向上をめざし、各町からの参加者を増やすため、周知方法などを見直す必要がある。	人権教育、啓発に係る情報を共有を図りながら、本集会への関わり方などの見直しを行い、圏域内の住民の人権意識の高揚を図っていく。
81	合同職員研修事業	圏域内職員の資質・能力向上を目的に、合同で職員研修を実施する。また、各市町で実施する独自研修、講演会等の情報共有を図り、相互に職員の受け入れを可能とする体制をつくる。	<p>・C S向上研修</p> <p>日 時：令和6年8月29日（木）9:30～12:00、13:30～16:00</p> <p>会 場：鳥取市役所 市民交流棟 多目的室</p> <p>対 象：主任級職員</p> <p>受講者数：101名</p> <p>・部下育成のO J T研修</p> <p>日 時：令和6年9月30日（月）9:30～12:00、13:30～16:00</p> <p>会 場：鳥取市役所本庁舎6階 会議室6-6～6-8</p> <p>受講者数：75名</p> <p>・採用4年目職員研修</p> <p>日 時：令和7年2月4日（火）午後</p> <p>会 場：鳥取市役所本庁舎6階 会議室6-5～6-8</p> <p>受講者数：55名</p>	全市町	圏域内全職員数に占める合同職員研修の受講者割合（%/年）	0	25%	9.7%	38.8%	×	おおむね計画どおり研修を実施できたと考える。研修受講後アンケートの回答に「各市町の職員同士で交流することができてよかったです」との意見が多くみられた一方、業務多忙な中で移動時間をかけて参加することに負担を感じる声もあり、受講形式について検討する必要がある。	各市町の希望に沿って、なるべく多くの職員が参加できるよう、研修の開催時期や、集合・オンラインのいずれの形式も検討しつつ、圏域の職員同士の交流の機会としての意義を維持できる研修のあり方を研究する。

No.	事業名	事業概要	事業実績（R6末時点）	連携市町	KPI					成果と課題	R6	創生 総合 戦略	
					KPI指標	基準値 (R3)	R6目標値	R6末実績値	達成率	評価			
82	職員交流検討事業	圏域内職員の行政マネジメント能力向上、専門分野の知識習得、情報共有のため、各市町の先進的な取組を学ぶ機会（勉強会等）を設ける等の人事交流の実施を検討する。	合同職員研修担当者会をオンラインで実施。 日 時：令和6年5月31日（金） 14:00～15:00 協議内容：令和6年度の研修計画 各市町の職員研修の現状 各市町開催の研修・講演会の情報共有 他	全市町	検討会議の開催（回/年）	1	1	1	100.0%	◎	5月の担当者会で、3つの研修の実施について圏域職員と協議するとともに情報共有を行った。 また、11月にも書面で意見集約し、振り返りや今後の方針などの協議を行った。	引き続き、圏域での研修課題など情報共有に取り組む。	
83	男女共同参画推進事業	鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」を情報発信拠点として、1市6町の男女共同参画に関する取組を紹介するとともに、啓発講座の共同開催など、圏域内の男女共同参画社会の実現を目指して連携した取組を進める。	1 連携講座 ①講 座 名：女性防災リーダーの視点で見た、防災テクニック 開 催 日：令和6年5月18日（土） 連携団体：八頭町（オンライン） ②講 座 名：女性防災リーダーの視点で見た、防災テクニック 開 催 日：令和6年5月18日（土） 連携団体：岩美町（CATV） ③講 座 名：わたしのトリセツをつくる！ 開 催 日：令和6年7月13日（土） 連携団体：八頭町（オンライン） ④講 座 名：日常に潜むジェンダーバイアスについて 開 催 日：令和6年10月11日（土） 連携団体：岩美町（CATV） 2 女性団体交流会 麒麟のまち圏域男女共同参画団体交流会 開 催 日：令和6年11月5日（火） 開 催 地：安部地区公民館（八頭町） 内 容：講演、交流会 3 その他 鳥取市男女共同参画センターの情報コーナーに連携町の男女共同参画プランを配架、閲覧可能としている。	全市町	連携講座の開催回数（回/年） ※CATVによる講座放送を行った場合も、連携講座の開催とする。	4	4	4	100.0%	◎	オンライン配信やCATV収録・放送による連携講座を開催し、圏域内の連携した啓発を実施した。連携町が取り組みやすい方法をさらに工夫する必要がある。 令和5年度より行っている男女共同参画団体交流会では、講演会、お互いの事業などの情報交換を行った。開催場所の自治体と連携を図り、講師や内容を選定を行いたい。	圏域内のニーズを把握し、連携講座や事業の充実を図る。 団体間の情報交換の機会を作り、圏域内の男女共同参画推進の取組の底上げにつなげる。	
84	公共施設点検研修の共同実施事業	圏域市町の施設管理担当職員を対象に、公共施設点検研修を実施する。	各自治体における建物点検、住民の安全確保に役立てていただくことを目的として、鳥取市の技術職員による『事務職員でも実施可能な建物点検についての実地研修』を実施 実施日：令和6年5月13日（2回）、14日（1回） 場 所：（13日）国府町コミュニティセンター （14日）賀露地区公民館 参加者：24人（うち若桜町1人、香美町4人）	全市町	公共施設点検研修の実施回数（回/年）	2	2	3	150.0%	◎	例年、複数の自治体より参加があり、参加者アンケートの結果でも好評をいただいている。	引き続き、圏域市町の施設管理担当職員を対象とした研修会を実施する。	

【令和6年度KPI達成状況】

指標	R6 KPI達成率	事業数
◎	順調（達成または達成率：100%以上）	51
○	概ね順調（達成率：75～100%未満）	13
△	やや遅延（達成率：50～75%未満）	8
×	遅延（達成率：50%未満）	9
－	評価対象外（実績値がまだ出でていないもの）	3
計		84